

6 メディア・コミュニケーションのこと

< 友だちとのコミュニケーション方法 >

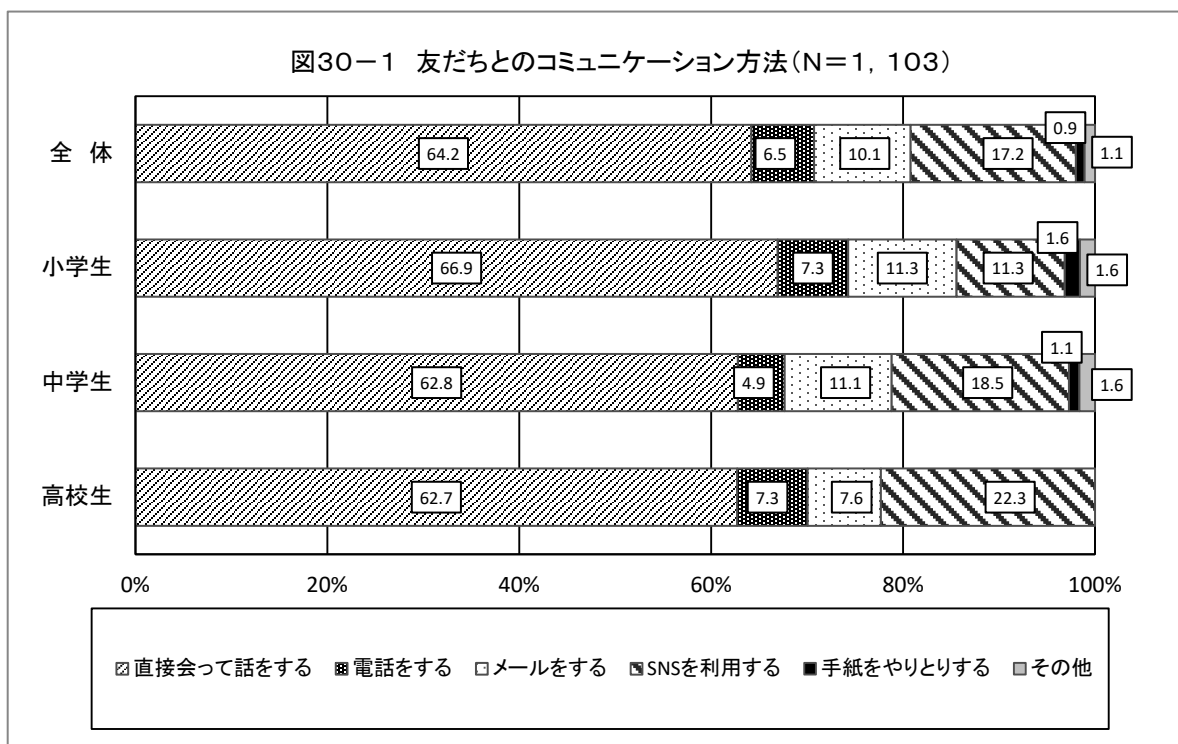
問18	あなたにとって、友だちとコミュニケーション(気持ちや情報を伝えることなど)をとるとき、いちばん気持ちが楽な方法はどれですか。一つ選んでください。
-----	--

【全体集計結果】

友だちとのコミュニケーション方法について尋ねたところ、「直接会って話をする」が64.2%で最も高く、以下、「SNSを利用する」(17.2%)、「メールをする」(10.1%)の順となっている。

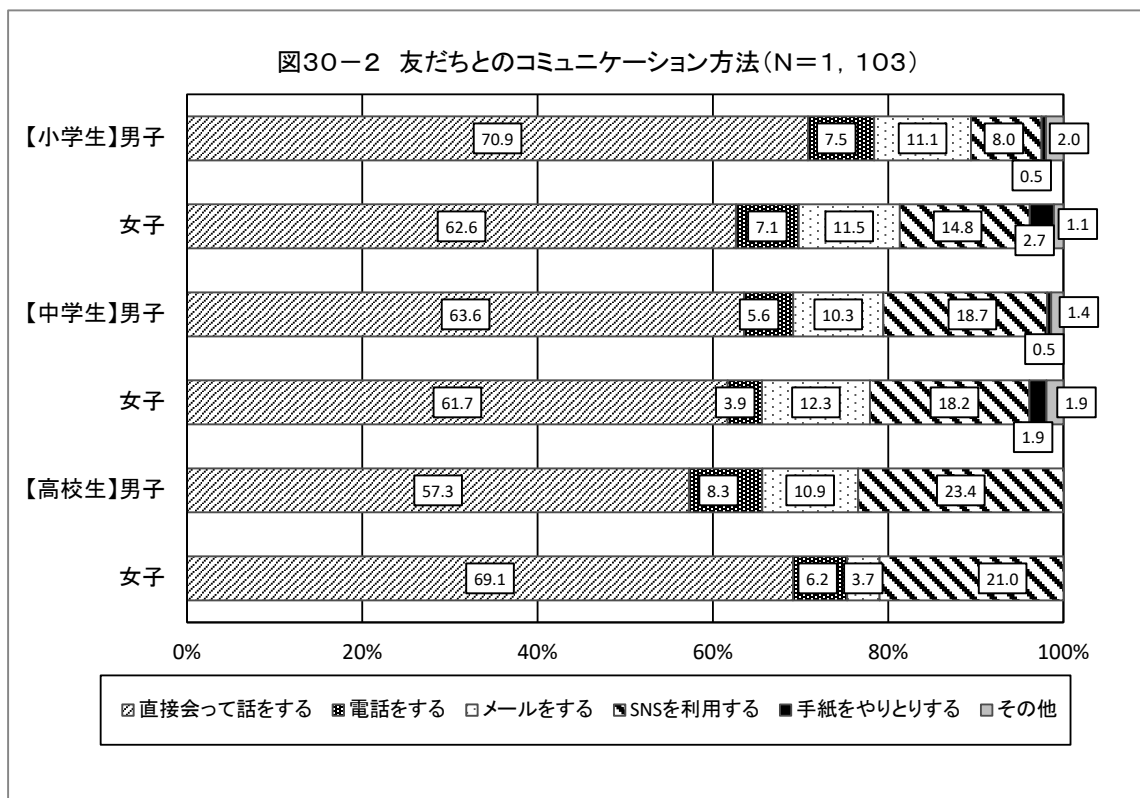
【学校種別集計結果】

小学生では、「直接会って話をする」が66.9%で最も高く、以下、「メールをする」、「SNSを利用する」(ともに11.3%)となっている。
 中学生では、「直接会って話をする」が62.8%で最も高く、以下、「SNSを利用する」(18.5%)、「メールをする」(11.1%)となっている。
 高校生では、「直接会って話をする」が62.7%で最も高く、以下、「SNSを利用する」(22.3%)、「メールをする」(7.6%)となっている。



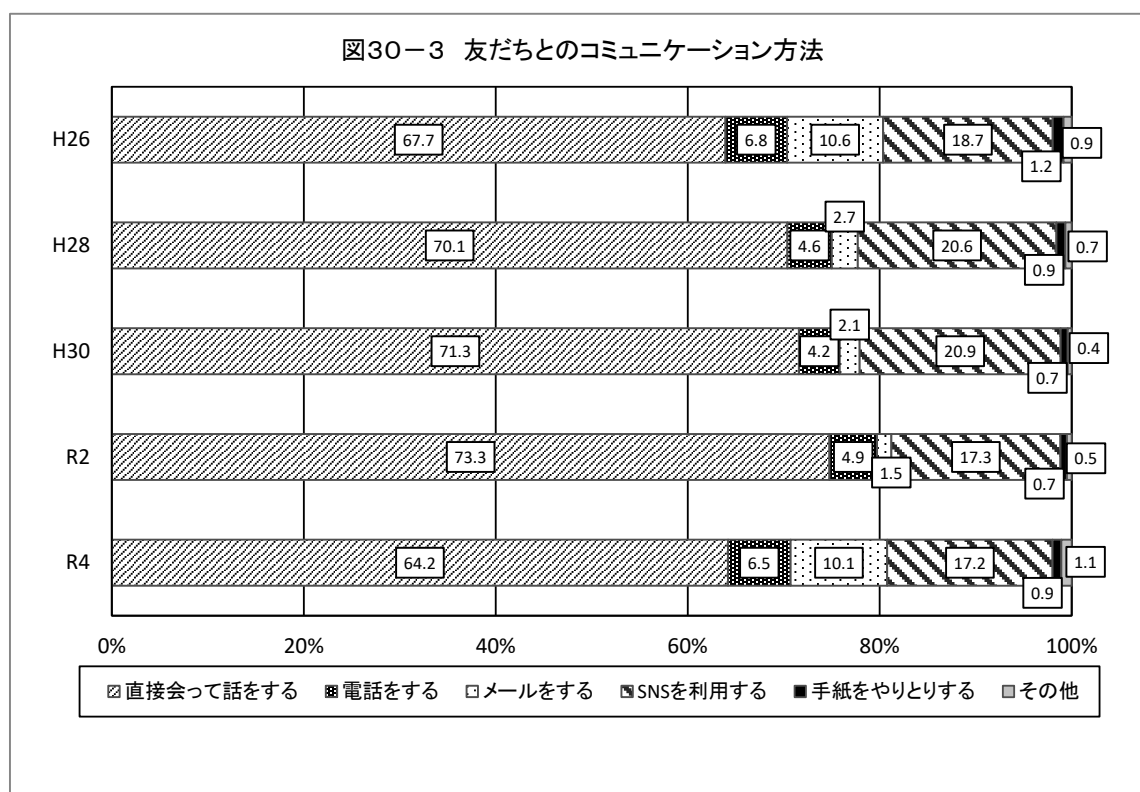
【属性別集計結果】

「SNSを利用する」は、高校生男子が23.4%で最も高く、以下、高校生女子(21.0%)、中学生男子(18.7%)となっている。



【経年変化】

「直接会って話をする」は、平成26年度から令和2年度まで増加傾向にあったが、令和4年度は令和2年度から9.1ポイント減少し、「メールをする」は、令和2年度から8.6ポイント増加した。「SNSを利用する」は平成30年度から減少傾向にある。



< 携帯電話・スマートフォン等の所有状況 >

問19 インターネットの利用についてお聞きます。

問19(1)	<p>インターネットにつながる機器(携帯電話・スマートフォン・パソコン・ゲーム機・携帯音楽プレーヤー・タブレット端末のこと。以下同じ。)について、あなたが現在、自分専用で持っているもの、又は、自分が自由に使えるものはありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。持っていない場合は、8を選んでください。 ※学校から配付されたパソコン・タブレット等は除きます。</p>
--------	---

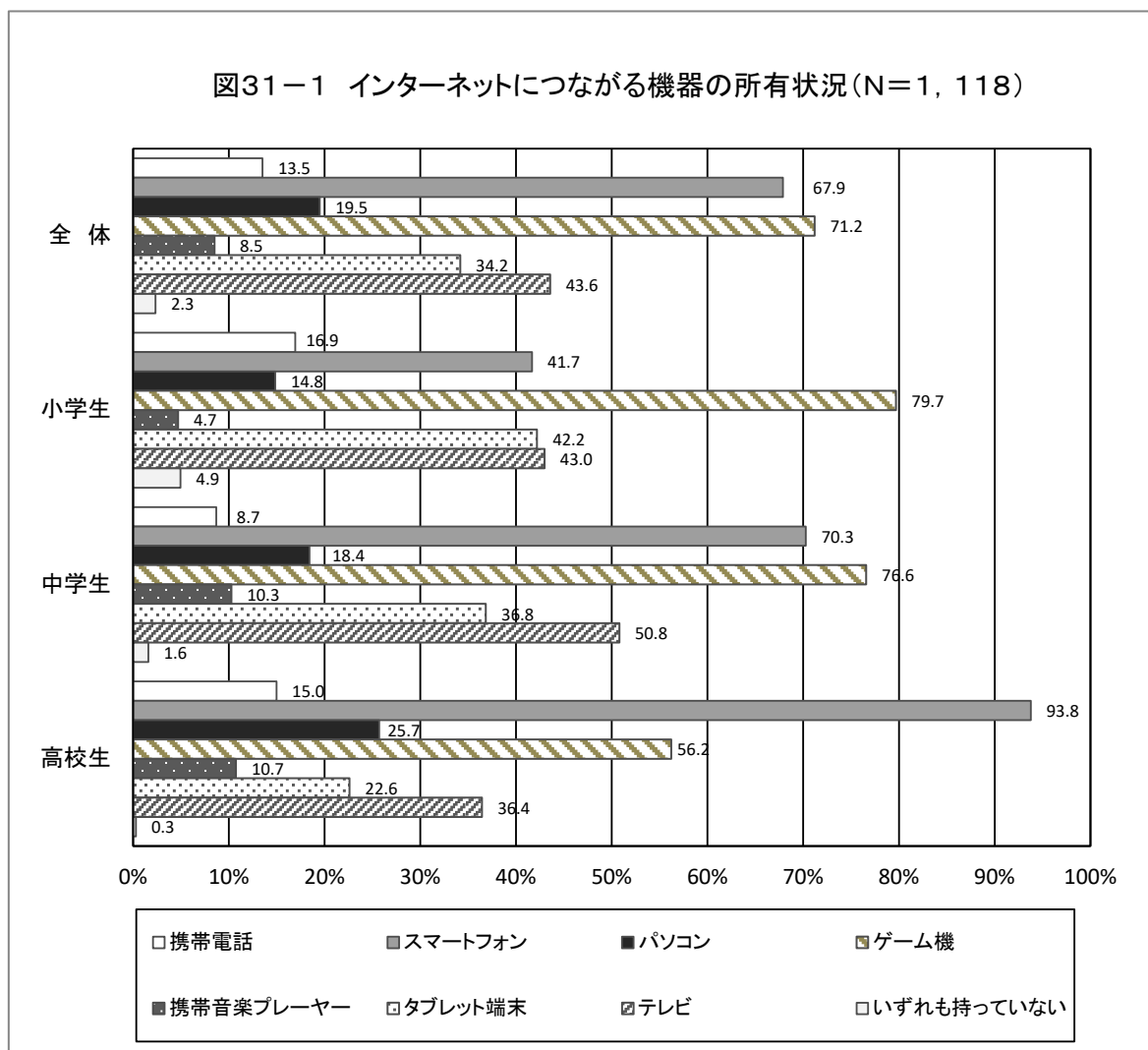
【全体集計結果】

現在、自分専用で持っているインターネットにつながる機器を尋ねたところ、「ゲーム機」が71.2%、「スマートフォン」が67.9%、「テレビ」が43.6%の順となっている。

【学校種別集計結果】

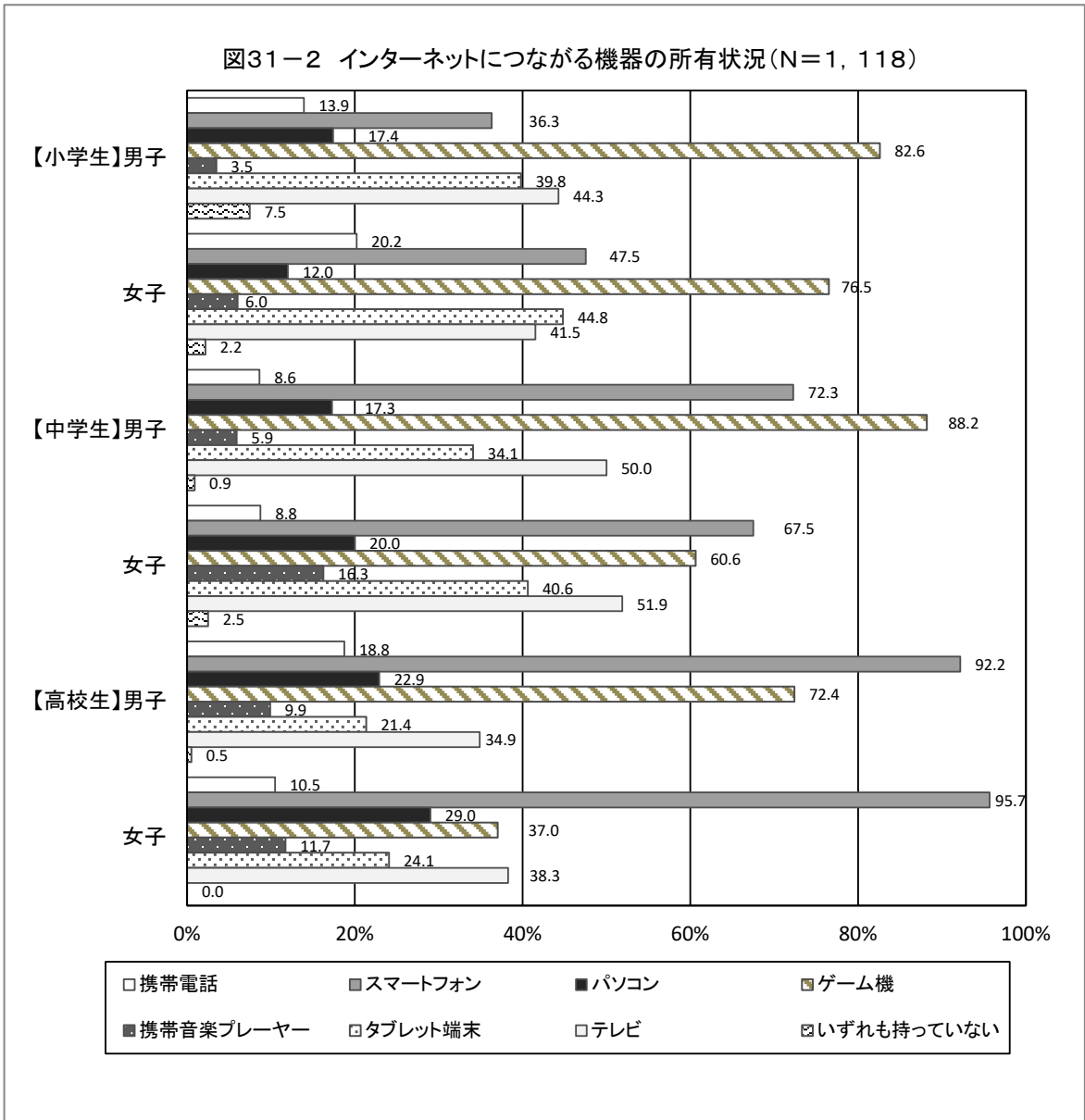
所有率が最も高いインターネットにつながる機器は、小学生と中学生では「ゲーム機」(小学生:79.7%、中学生:76.6%)、高校生では「スマートフォン」(93.8%)となっている。

図31-1 インターネットにつながる機器の所有状況(N=1,118)



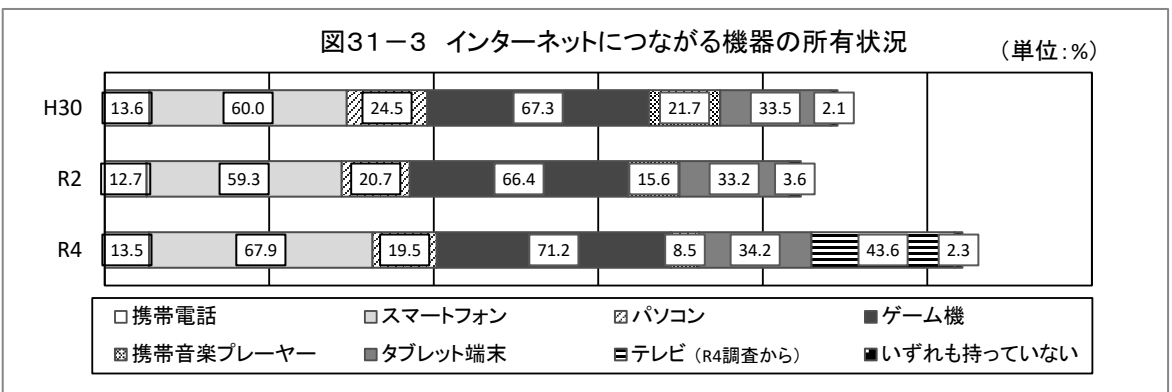
【属性別集計結果】

所有率の高いゲーム機とスマートフォンで比較すると、ゲーム機は、小学生、中学生、高校生のいずれも男子のほうが女子よりも所有率が高い。スマートフォンは、小学生と高校生は女子のほうが所有率が高く、中学生は男子のほうが高い。



【経年変化】

令和2年度と比較すると、「スマートフォン」が8.6ポイント、「ゲーム機」が4.8ポイント、それぞれ増加し、「パソコン」は減少傾向にある。



< インターネットにつながる機器の使用目的 >

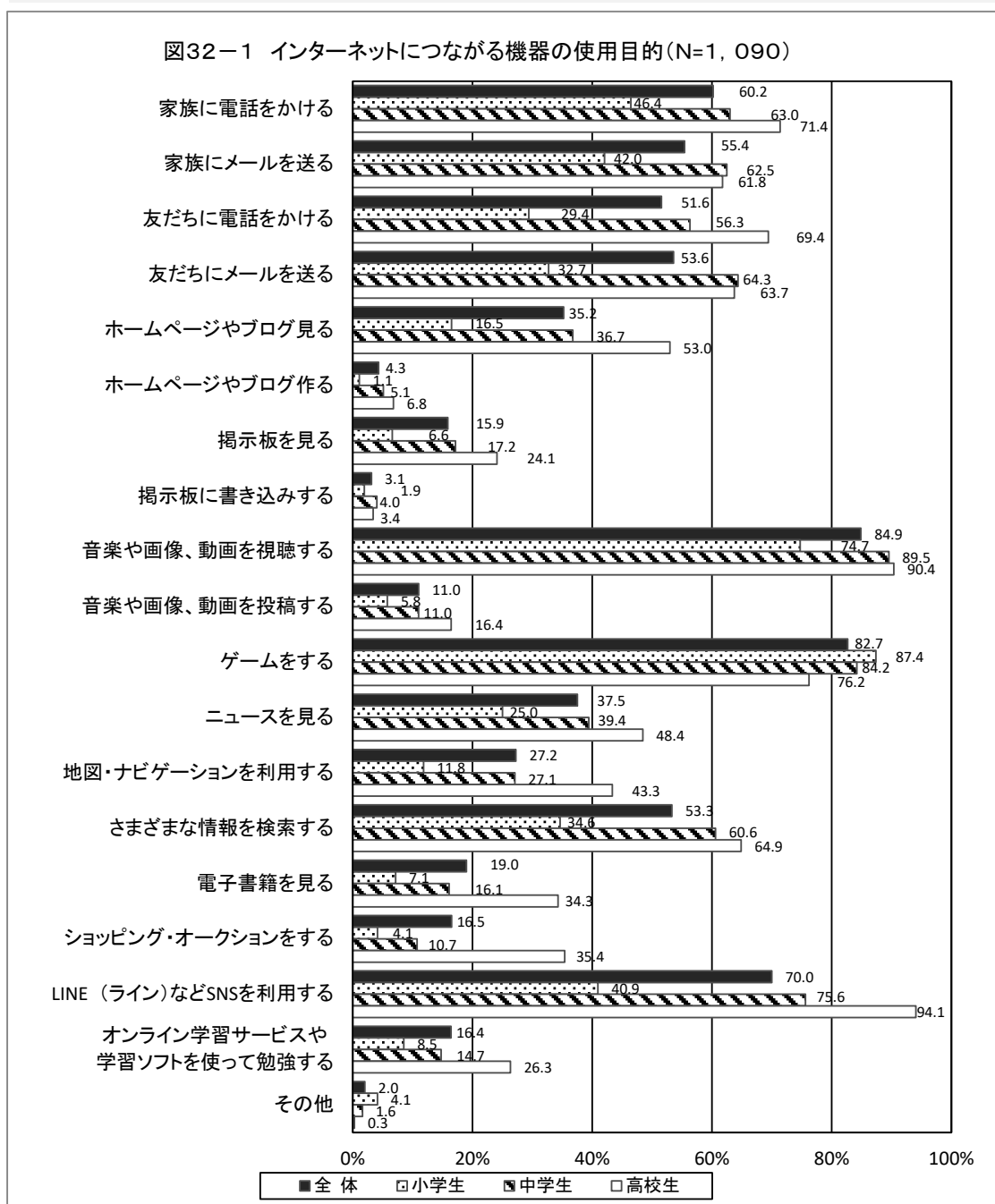
問19(2) (1)で1~7のいずれかを選んだ人にお聞きます。あなたは、どのような目的で使うことが多いですか。あてはまるものを、いくつでも選んでください。

【全体集計結果】

インターネットにつながる機器の使用目的を尋ねたところ、「音楽や画像、動画を視聴する」が84.9%で最も高く、以下、「ゲームをする」(82.7%)、「LINE(ライン)などSNSを利用する」(70.0%)の順となっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「ゲームをする」(87.4%)、「音楽や画像、動画を視聴する」(74.7%)、「家族に電話をかける」(46.4%)の順となっている。
 中学生では、「音楽や画像、動画を視聴する」(89.5%)、「ゲームをする」(84.2%)、「LINE(ライン)などSNSを利用する」(75.6%)の順となっている。
 高校生では、「LINE(ライン)などSNSを利用する」(94.1%)、「音楽や画像、動画を視聴する」(90.4%)、「ゲームをする」(76.2%)の順となっている。

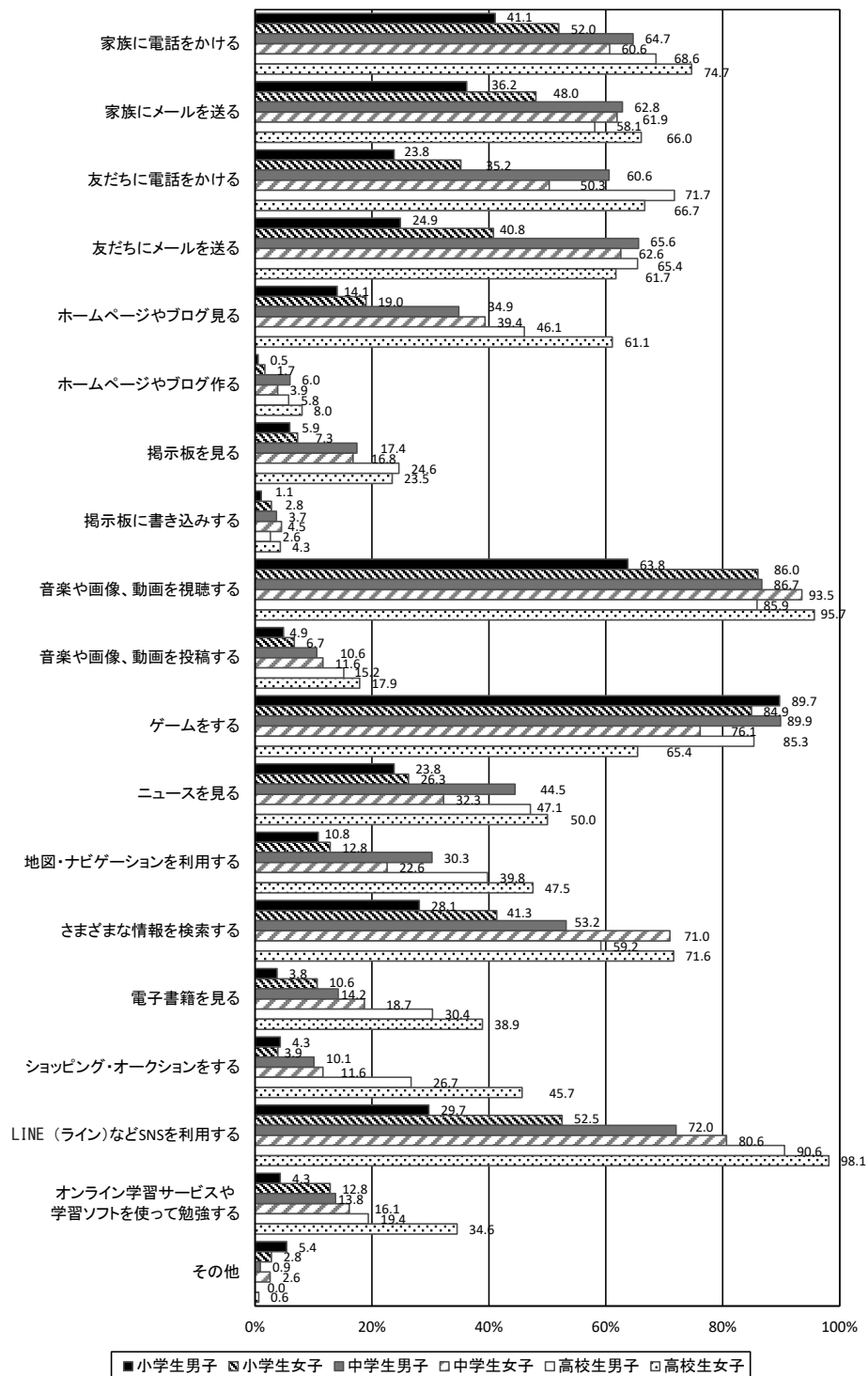


【属性別集計結果】

小学生男子、小学生女子、中学生男子、中学生女子、高校生男子、高校生女子それぞれ割合が高い項目を上から順に3つあげると、以下のようになっている。

- | | |
|---|--|
| <p>〈小学生男子〉
 「ゲームをする」(89.7%)
 「音楽や画像、動画を視聴する」(63.8%)
 「家族に電話をかける」(41.1%)</p> | <p>〈小学生女子〉
 「音楽や画像、動画を視聴する」(86.0%)
 「ゲームをする」(84.9%)
 「LINE(ライン)などSNSを利用する」(52.5%)</p> |
| <p>〈中学生男子〉
 「ゲームをする」(89.9%)
 「音楽や画像、動画を視聴する」(86.7%)
 「LINE(ライン)などSNSを利用する」(72.0%)</p> | <p>〈中学生女子〉
 「音楽や画像、動画を視聴する」(93.5%)
 「LINE(ライン)などSNSを利用する」(80.6%)
 「ゲームをする」(76.1%)</p> |
| <p>〈高校生男子〉
 「LINE(ライン)などSNSを利用する」(90.6%)
 「音楽や画像、動画を視聴する」(85.9%)
 「ゲームをする」(85.3%)</p> | <p>〈高校生女子〉
 「LINE(ライン)などSNSを利用する」(98.1%)
 「音楽や画像、動画を視聴する」(95.7%)
 「家族に電話をかける」(74.7%)</p> |

図32-2 インターネットにつながる機器の使用目的(N=1,090)



< SNSの利用目的 >

問19(3) (2)で「17 LINE(ライン)などSNSを利用する」を選んだ人にお聞きします。どのような目的で使うことが多いですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

【全体集計結果】

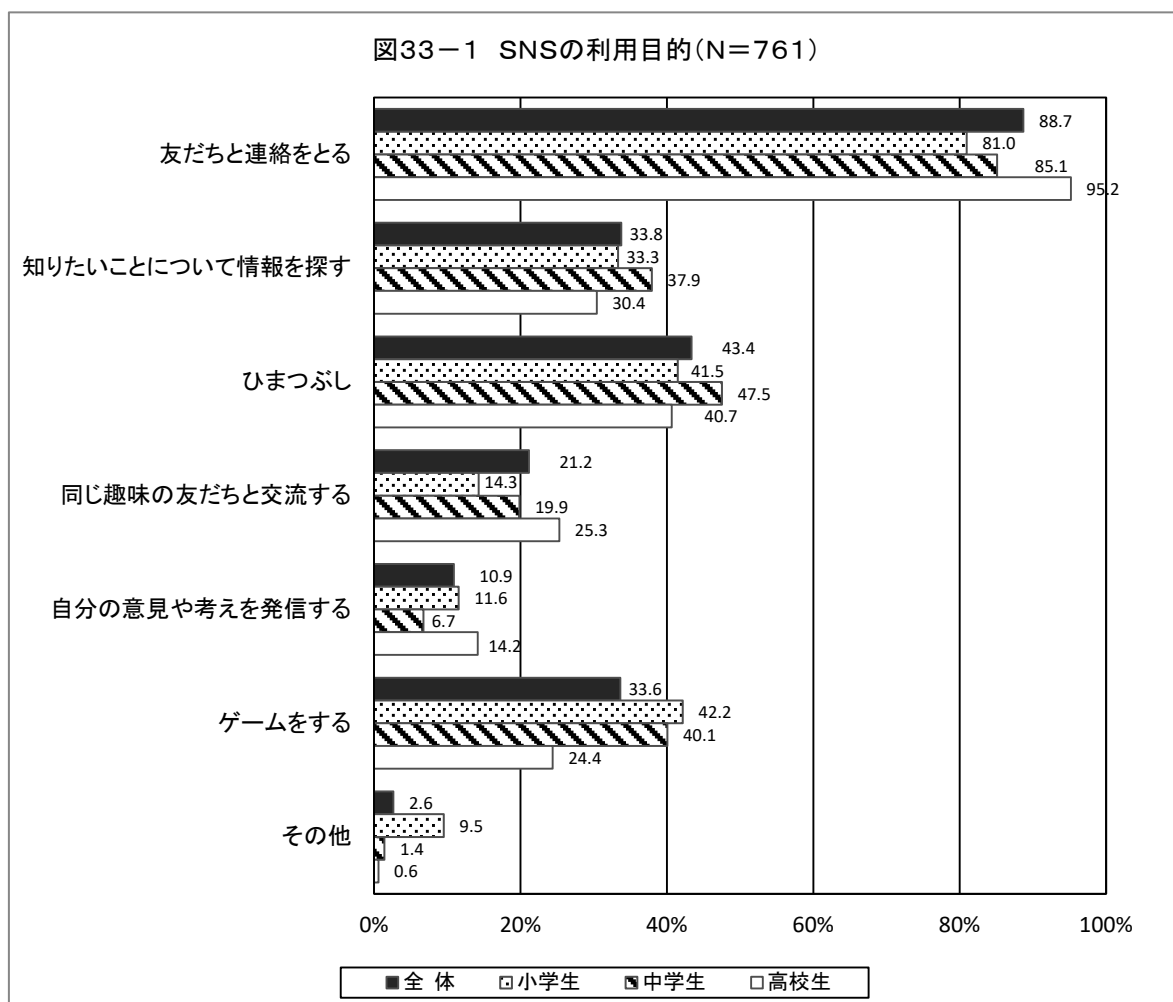
SNSの利用目的を尋ねたところ「友だちと連絡をとる」が88.7%で最も高く、以下、「ひまつぶし」(43.4%)、「知りたいことについて情報を探す」(33.8%)の順となっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「友だちと連絡をとる」(81.0%)、「ゲームをする」(42.2%)、「ひまつぶし」(41.5%)の順となっている。

中学生では、「友だちと連絡をとる」(85.1%)、「ひまつぶし」(47.5%)、「ゲームをする」(40.1%)の順となっている。

高校生では、「友だちと連絡をとる」(95.2%)、「ひまつぶし」(40.7%)、「知りたいことについて情報を探す」(30.4%)の順となっている。



【属性別集計結果】

小学生男子、小学生女子、中学生男子、中学生女子、高校生男子、高校生女子それぞれ割合が高い項目を上から順に3つあげると、以下のようになっている。

〈小学生男子〉

- 「友だちと連絡をとる」(74.5%)
- 「ゲームをする」(43.6%)
- 「ひまつぶし」(32.7%)

〈小学生女子〉

- 「友だちと連絡をとる」(84.8%)
- 「ひまつぶし」(46.7%)
- 「ゲームをする」(41.3%)

〈中学生男子〉

- 「友だちと連絡をとる」(85.4%)
- 「ゲームをする」(49.0%)
- 「ひまつぶし」(42.0%)

〈中学生女子〉

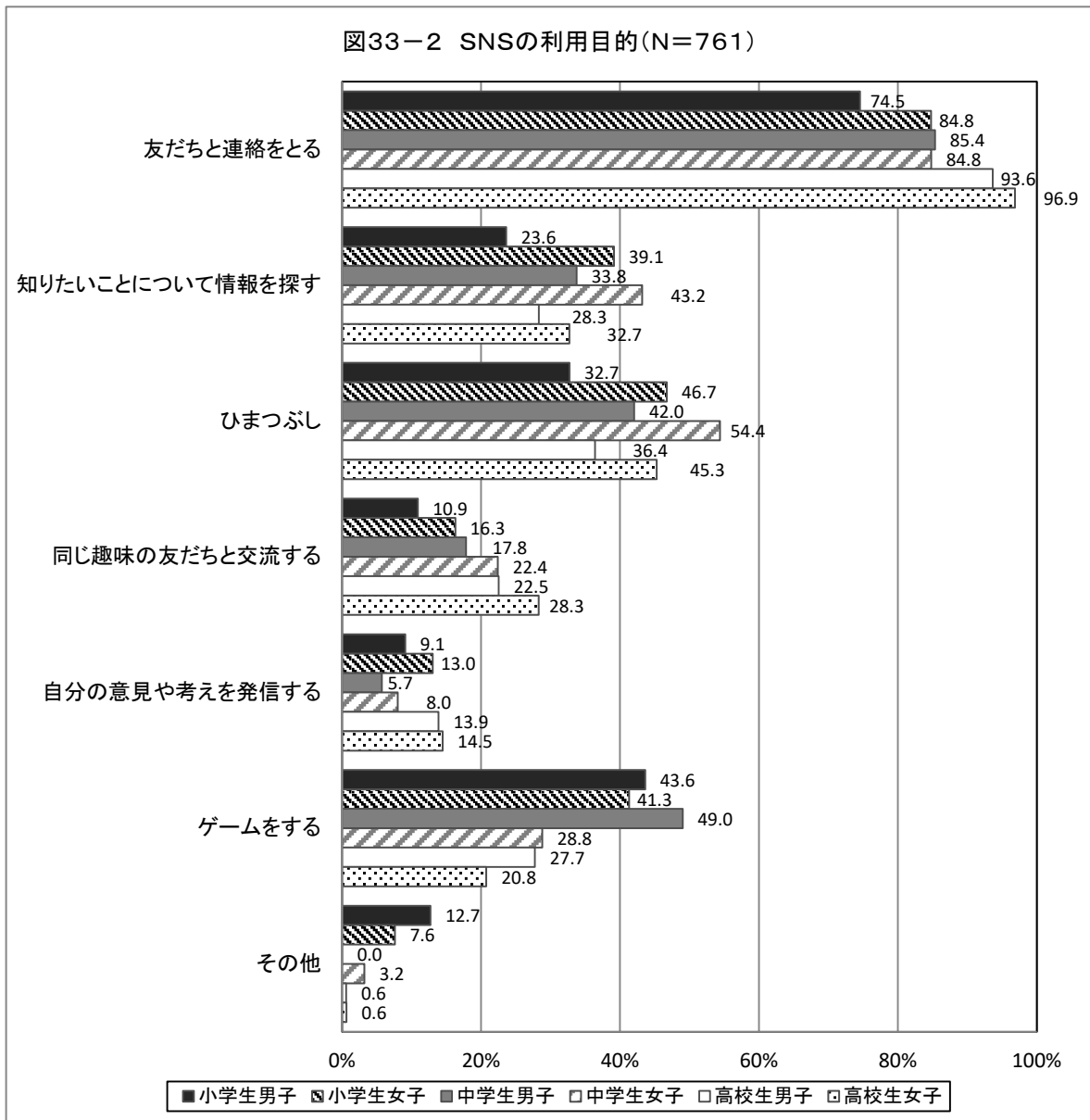
- 「友だちと連絡をとる」(84.8%)
- 「ひまつぶし」(54.4%)
- 「知りたいことについて情報を探す」(43.2%)

〈高校生男子〉

- 「友だちと連絡をとる」(93.6%)
- 「ひまつぶし」(36.4%)
- 「知りたいことについて情報を探す」(28.3%)

〈高校生女子〉

- 「友だちと連絡をとる」(96.9%)
- 「ひまつぶし」(45.3%)
- 「知りたいことについて情報を探す」(32.7%)



< インターネットの利用時間 >

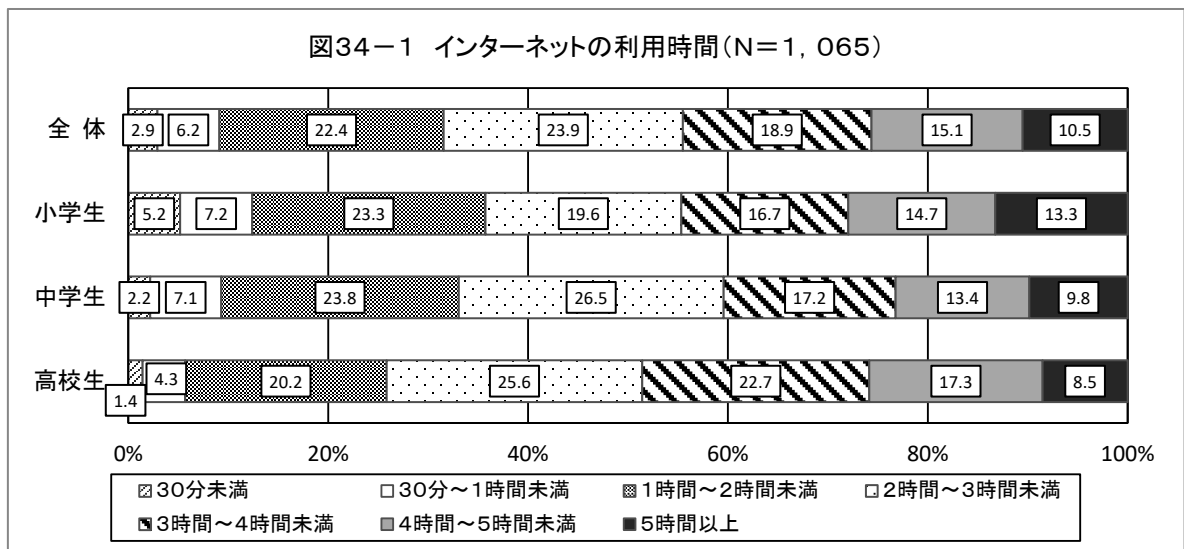
問19(4) (1)で1～7のいずれかを選んだ人にお聞きします。1日にどのくらい利用していますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

インターネットの利用時間を尋ねたところ、「2時間～3時間未満」が23.9%で最も高く、以下「1時間～2時間未満」(22.4%)、「3時間～4時間未満」(18.9%)の順となっている。

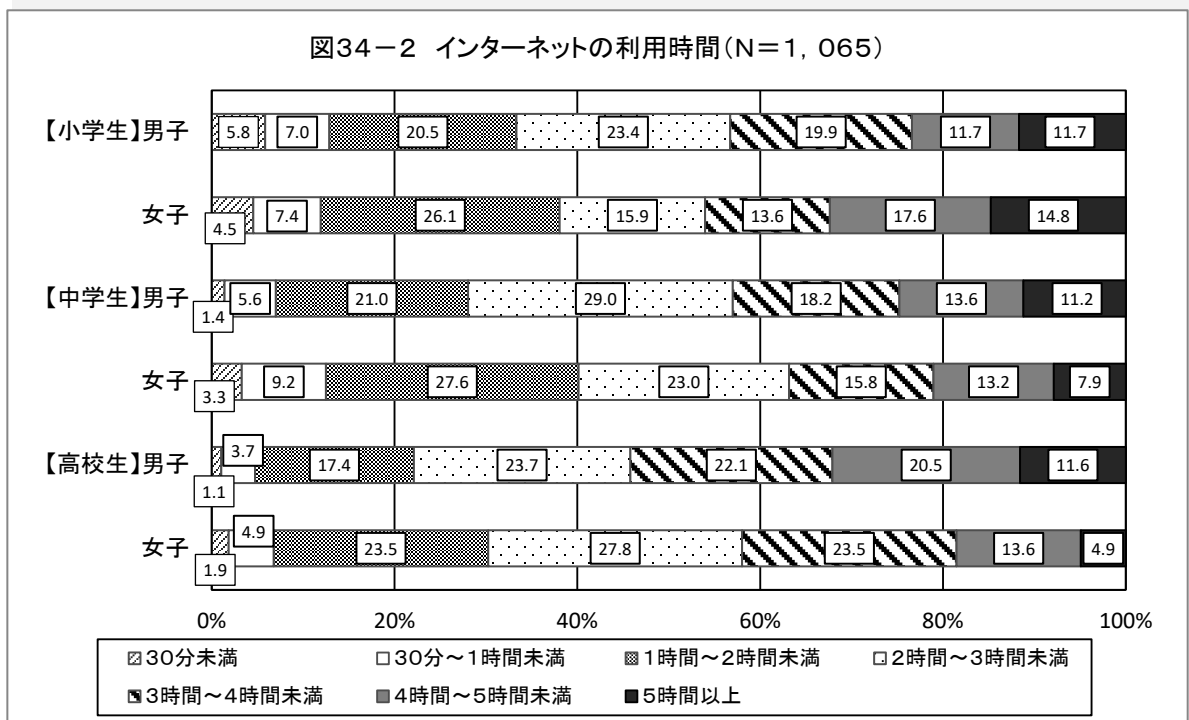
【学校種別集計結果】

小学生は「1時間～2時間未満」が23.3%で最も高く、中学生及び高校生は「2時間～3時間未満」(中学生:26.5%、高校生:25.6%)が最も高い。



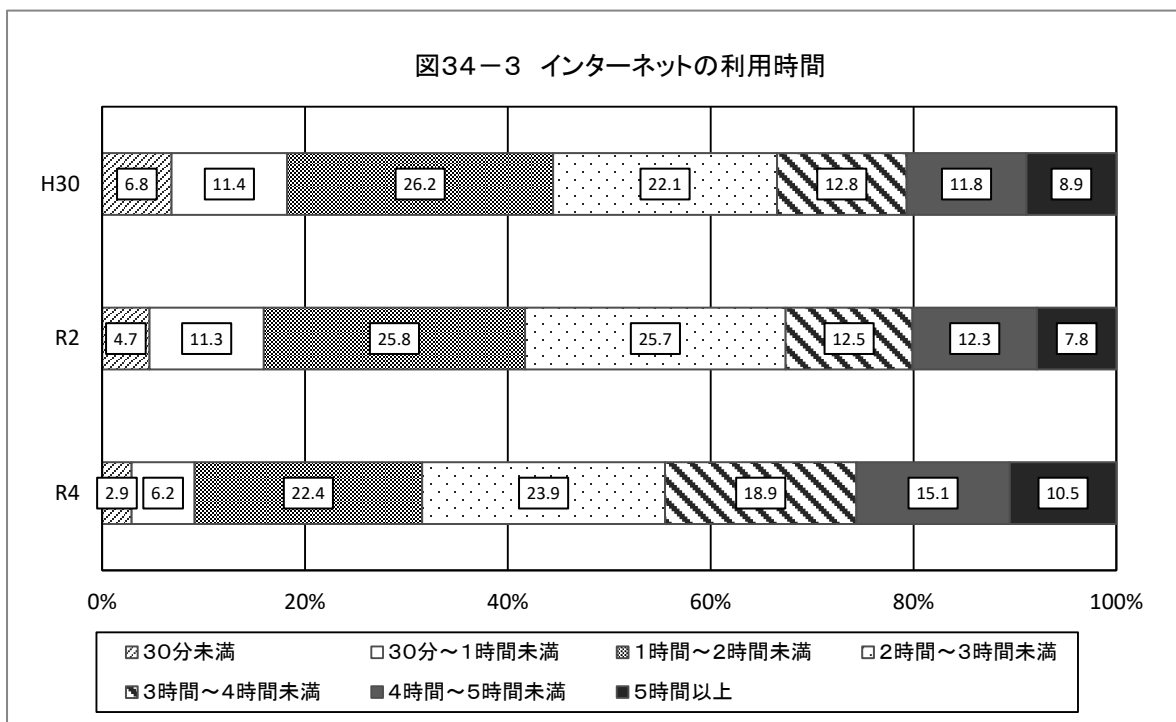
【属性別集計結果】

小学生男子、中学生男子、高校生男女は「2～3時間未満」が最も多く、小学生女子、中学生女子は「1～2時間未満」の利用が最も多い。



【経年変化】

利用時間は増加傾向にあり、令和2年度と比較すると、3時間以上利用している人が、32.6%から44.5%へ11.9ポイント増加している。



< フィルタリング機能の認知状況 >

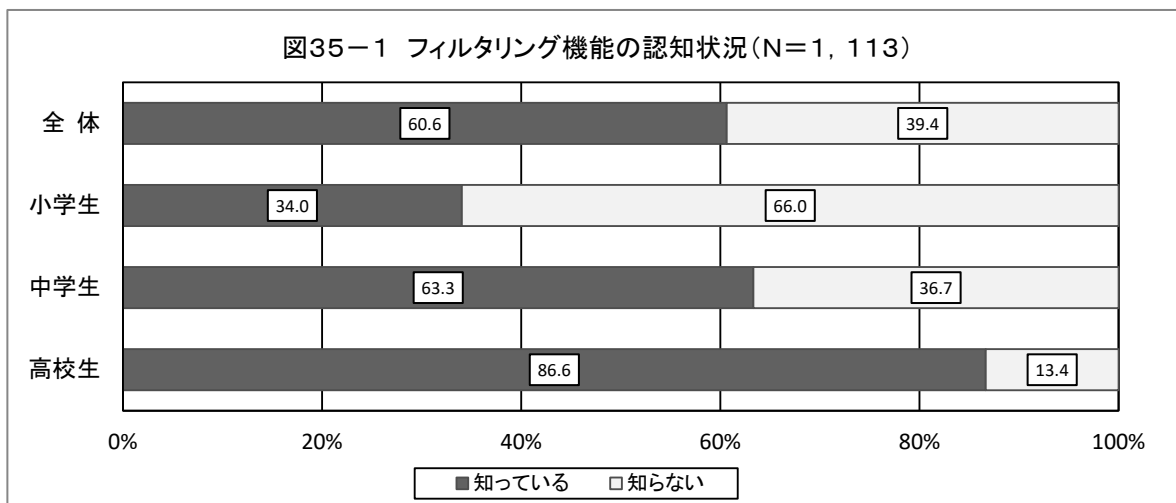
問19(5) あなたは、フィルタリング機能(青少年にとって好ましくないサイトを見られないようにする機能)について、知っていますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

フィルタリング機能を知っているかどうか尋ねたところ、「知っている」が60.6%で、「知らない」(39.4%)を21.2ポイント上回っている。

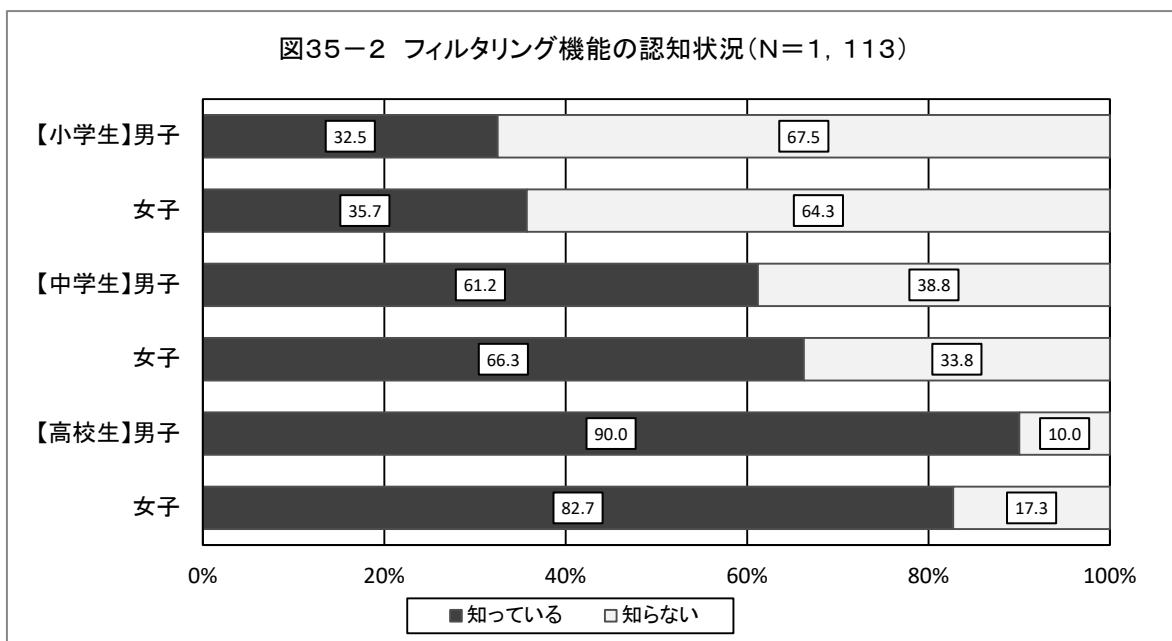
【学校種別集計状況】

「知っている」は、高校生が86.6%で最も高く、以下、中学生(63.3%)、小学生(34.0%)の順となっている。



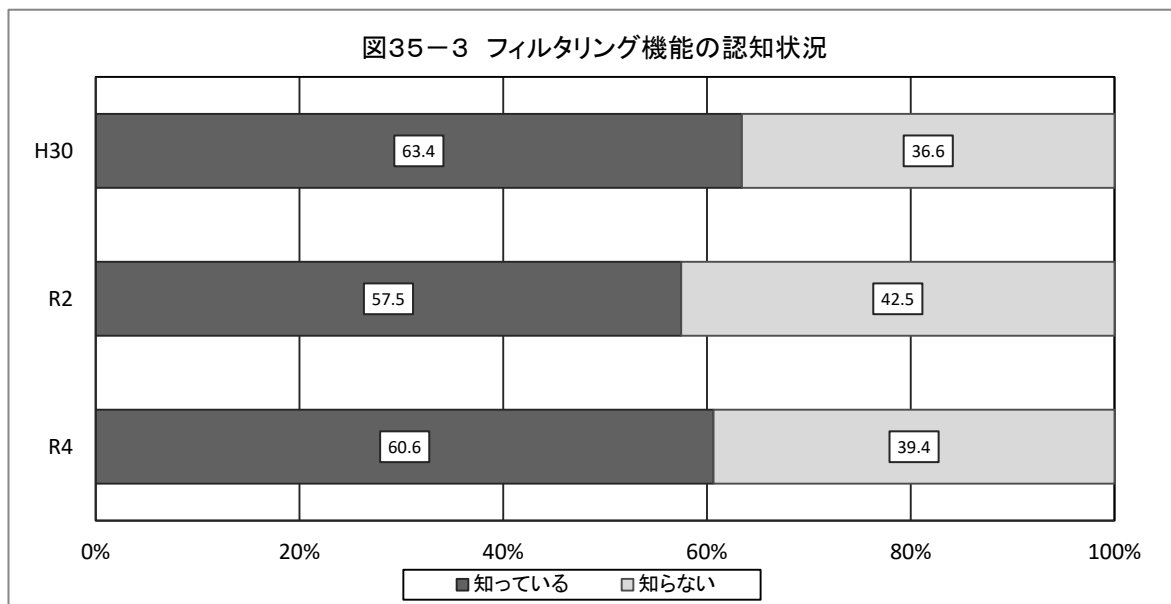
【属性別集計結果】

「知っている」は、高校生男子が90.0%で最も高く、以下、高校生女子(82.7%)、中学生女子(66.3%)となっている。また、高校生は男子が女子よりも高いが、小学生と中学生は女子のほうが高い。



【経年変化】

令和2年度と比較すると、「知っている」が、57.5%から60.6%へ3.1ポイント増加している。



< フィルタリング機能の利用状況 >

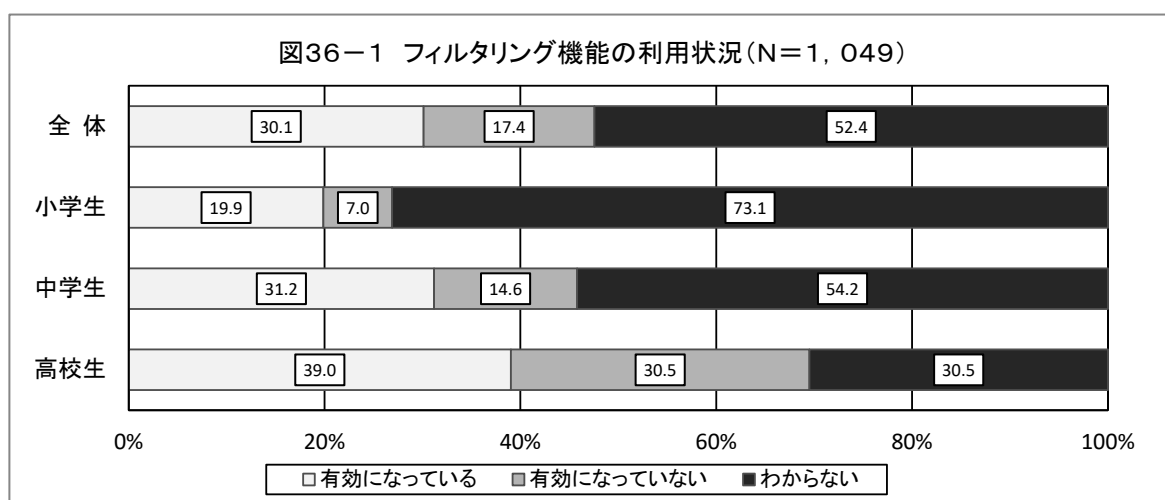
問19(6) (1)で1～7のいずれかを選んだ人にお聞きします。フィルタリング機能は有効になっていますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

インターネットにつながる機器のフィルタリング機能が有効になっているかどうかを尋ねたところ、「わからない」が52.4%で最も高く、以下「有効になっている」(30.1%)、「有効になっていない」(17.4%)の順となっている。

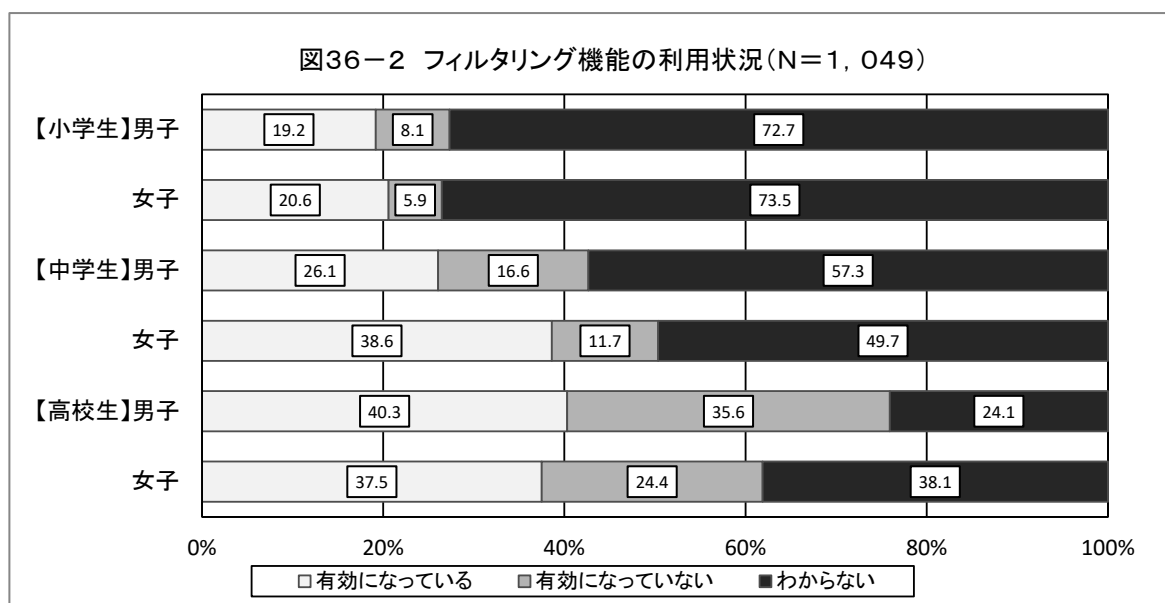
【学校種別集計結果】

「有効になっている」は、高校生が39.0%で最も高く、以下、中学生(31.2%)、小学生(19.9%)となっている。「有効になっていない」は学校種が上がるにつれて高くなっている。また、小学生と中学生については、半数以上が「わからない」(小学生:73.1%、中学生:54.2%)となっている。



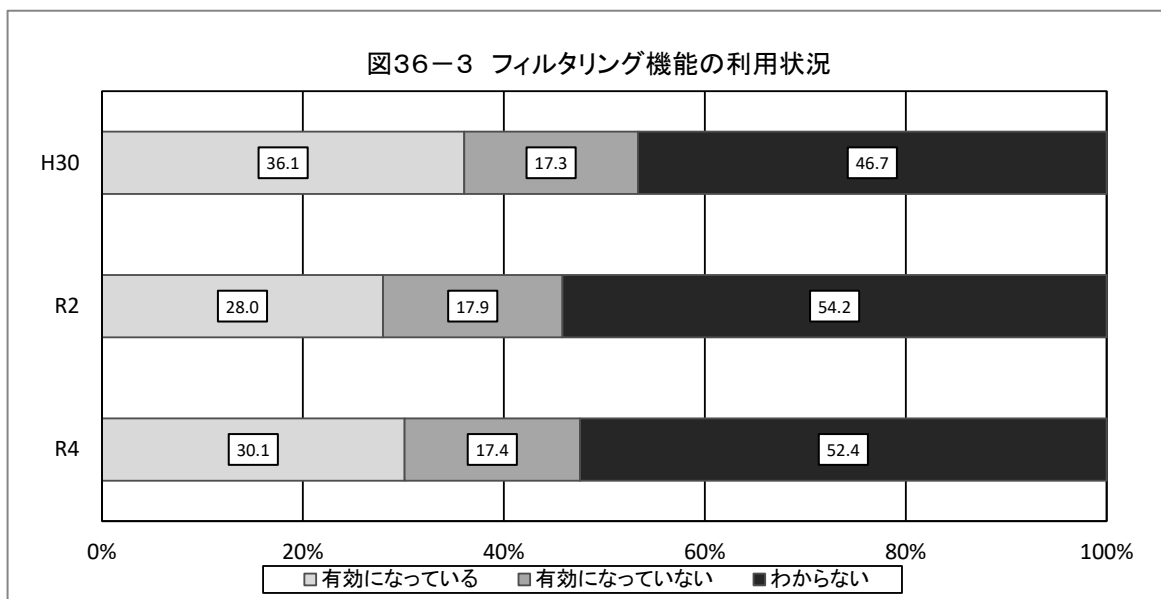
【属性別集計結果】

「有効になっている」は、高校生男子が40.3%で最も高い。また、小学生及び中学生は女子のほうが男子よりも高いが、高校生は男子のほうが高い。「わからない」と回答した高校生は、女子(38.1%)のほうが男子(24.1%)より14ポイント高い。



【経年変化】

令和2年度と比較すると、「有効になっている」が28.0%から30.1%へと、2.1ポイント増加している。



< 年齢が制限されているサイトへのアクセス状況 >

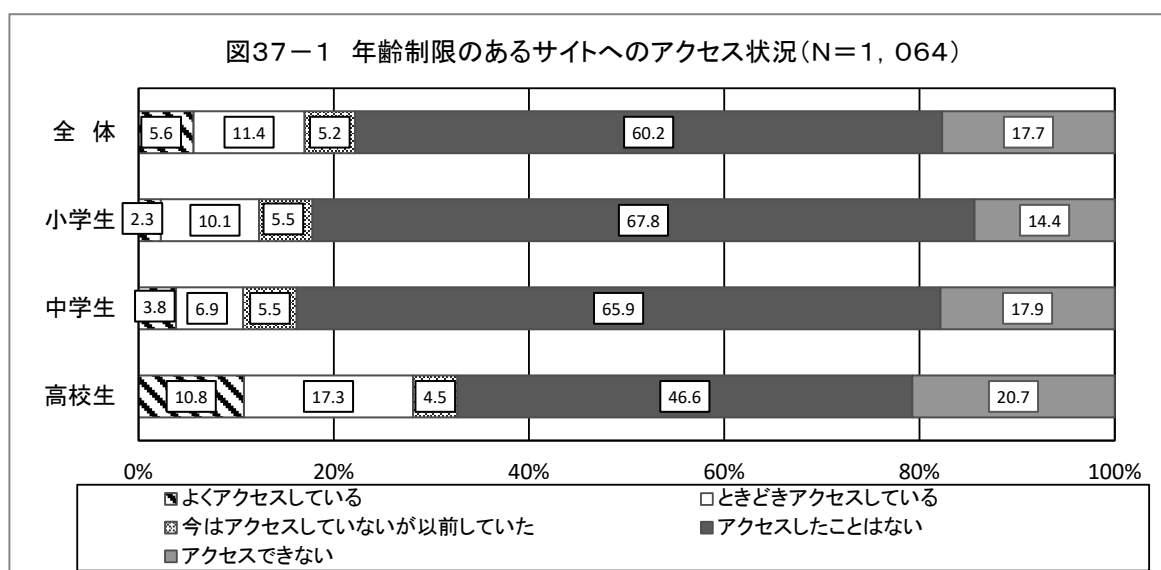
問19(7) (1)で1~7のいずれかを選んだ人にお聞きます。あなたは、インターネットを使っていて、年齢が制限されているサイトにアクセスしたことはありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

年齢が制限されているサイトにアクセスしたことがあるかどうか尋ねたところ、「アクセスしたことはない」が60.2%で最も高い。

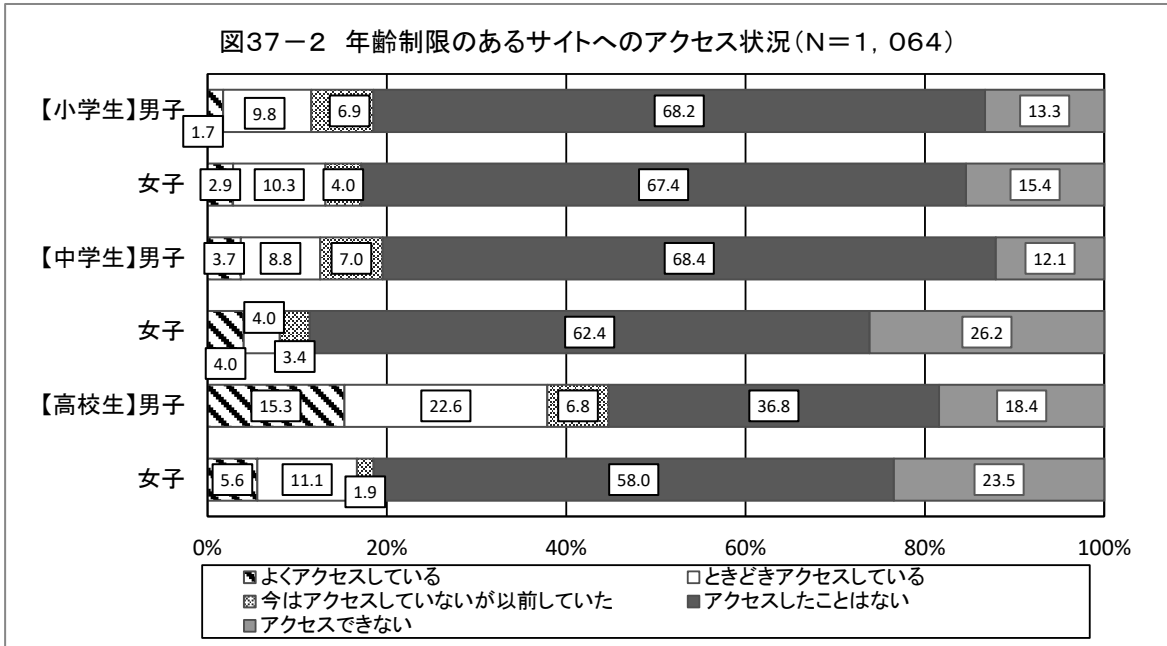
【学校種別集計結果】

「よくアクセスしている」、「ときどきアクセスしている」を合わせた『アクセスしたことがある』は、高校生が28.1%で最も高く、以下、小学生(12.4%)、中学生(10.7%)の順となっている。



【属性別集計結果】

『アクセスしたことがある』は、高校生男子が37.9%で最も高い。以下、高校生女子(16.7%)、小学生女子(13.2%)となっている。



< 悪口やいじめにつながる書き込みの閲覧状況 >

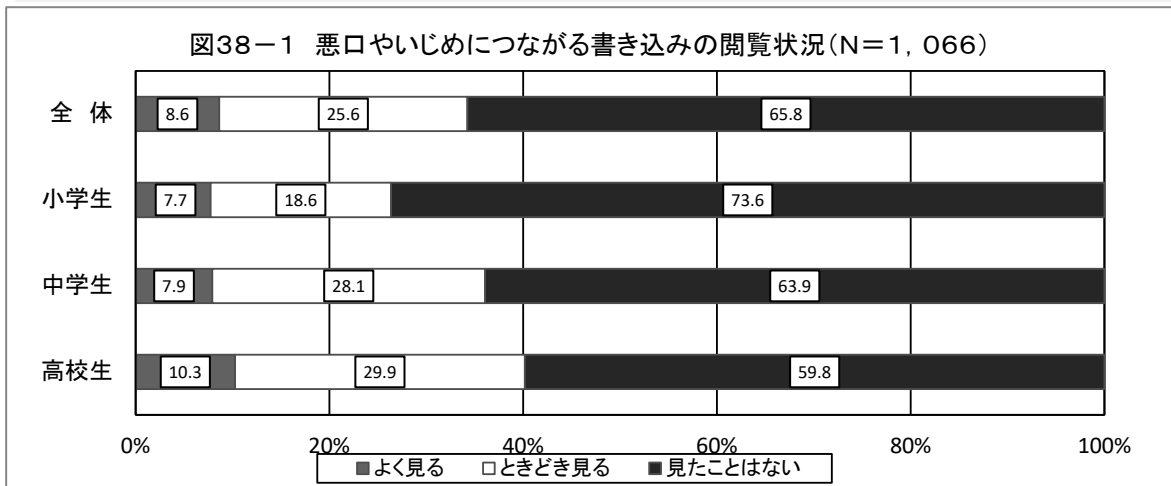
問19(8) (1)で1~7のいずれかを選んだ人にお聞きます。あなたは、インターネットを使っていて、悪口や、いじめにつながる書き込みを見たことがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

インターネットを使っていて、悪口やいじめにつながる書き込みを見たことがあるかどうか尋ねたところ、「見たことはない」が65.8%と最も高く、以下、「ときどき見る」が25.6%、「よく見る」が8.6%となっている。

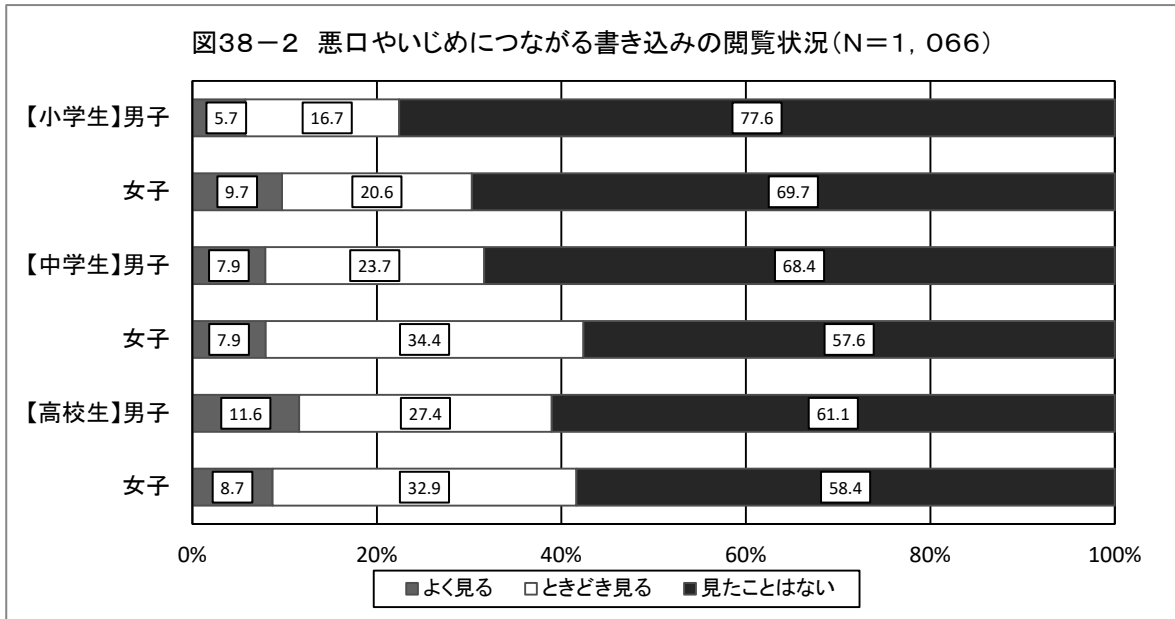
【学校種別集計結果】

「よく見る」、「ときどき見る」を合わせた『見たことがある』は、高校生が40.2%で最も高く、以下、中学生(36.0%)、小学生(26.3%)となっている。



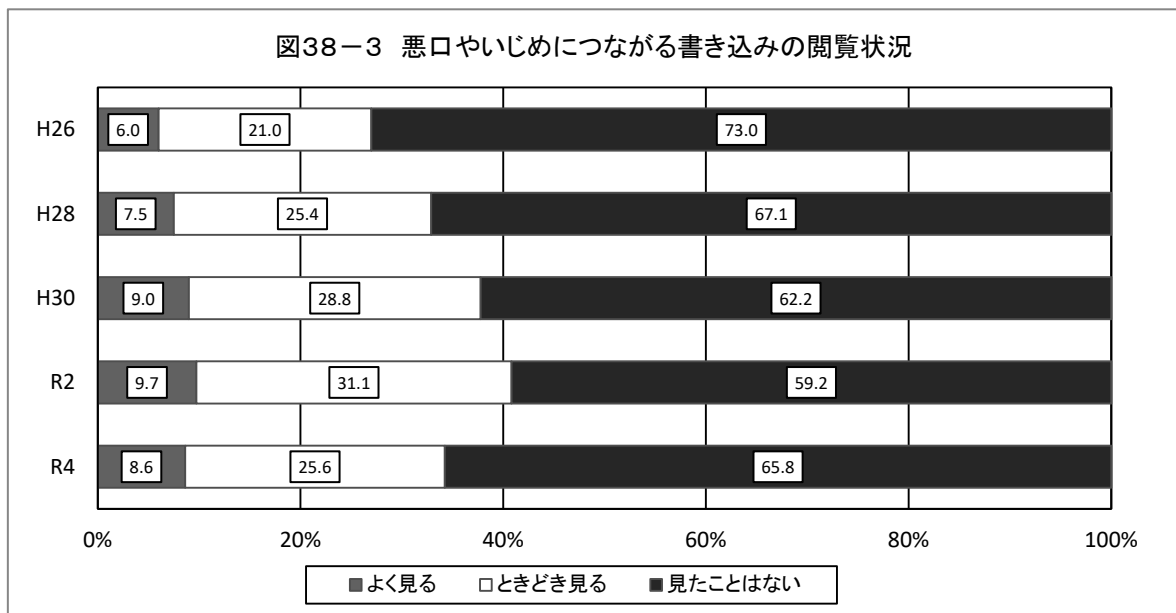
【属性別集計結果】

『見たことがある』は、中学生女子が42.3%で最も高い。以下、高校生女子が41.6%、高校生男子が39.0%となっている。



【経年変化】

令和2年度と比較すると、『見たことがある』は、40.8%から34.2%へ6.6ポイント減少している。



< 悪口やいじめにつながる書き込みの閲覧場所 >

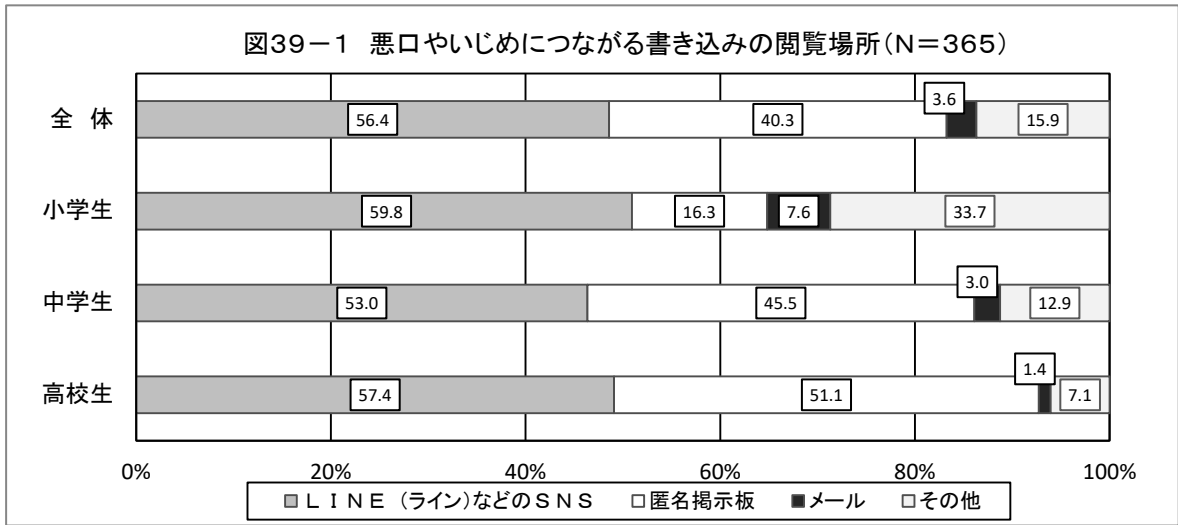
問19(9) (8)で1~2のいずれかを選んだ人にお聞きします。悪口や、いじめにつながる書き込みをどこで見ましたか。あてはまるものを、いくつでも選んでください。

【全体集計結果】

悪口や、いじめにつながる書き込みをどこを見たか尋ねたところ、「LINE(ライン)などのSNS」が56.4%と最も高く、次いで「匿名掲示板」「メール」の順となっている。

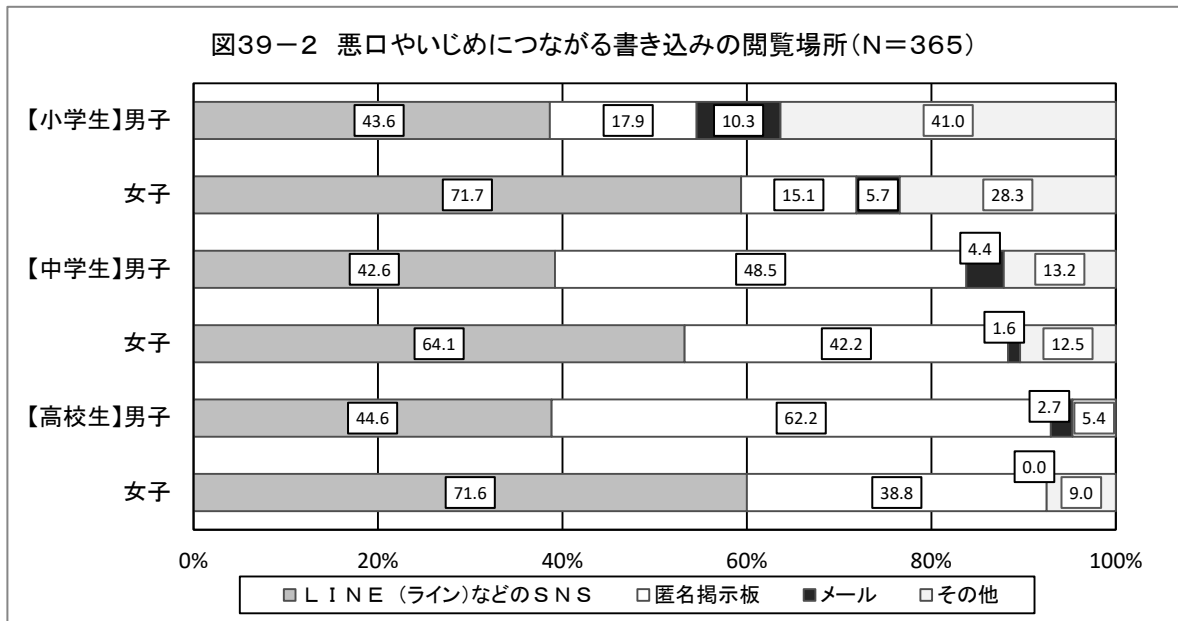
【学校種別集計結果】

小学生、中学生、高校生のいずれも、「LINE(ライン)などのSNS」が最も高い。
※小学生の「その他」は、ユーチューブ、ゲーム、ティックトックなどである。



【属性別集計結果】

小学生男女、中学生女子、高校生女子は「LINE(ライン)などのSNS」が最も高く、高校生男子と中学生男子は「匿名掲示板」が最も高い。特に「LINE(ライン)などのSNS」に着目すると、小学生、中学生、高校生のいずれも、女子のほうが男子よりも高い。



<インターネット利用の悪影響>

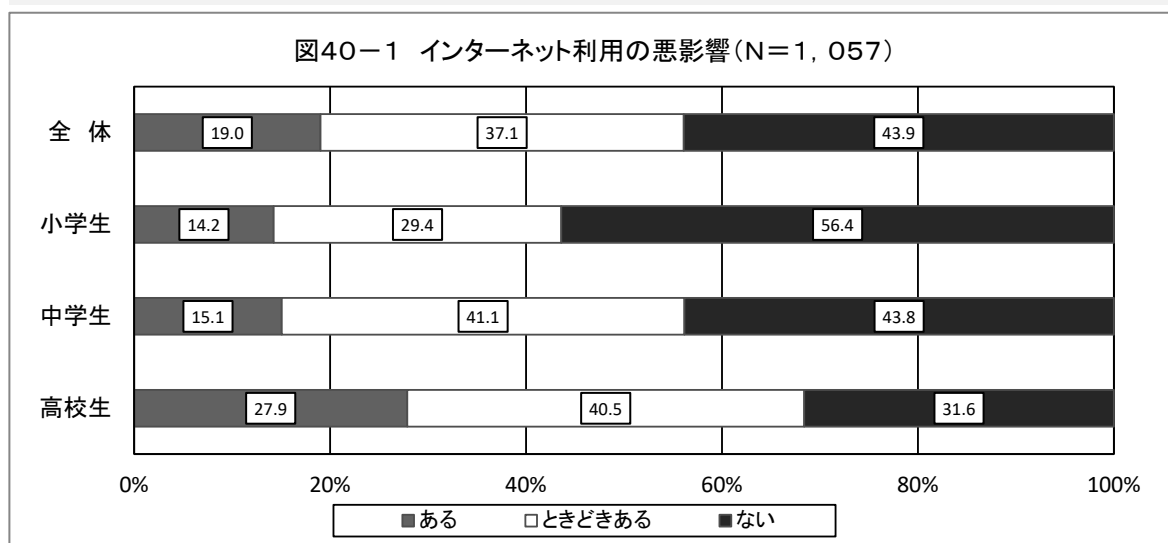
問19(10) (1)で1～7のいずれかを選んだ人にお聞きします。あなたは、インターネットにのめりこんで勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になつたりしたことがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

インターネットにのめりこんで、勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になつたりしたことがあるかどうか尋ねたところ、「ない」が43.9%と最も高い一方、「ある」「ときどきある」を合わせると、56.1%と半数を超えている。

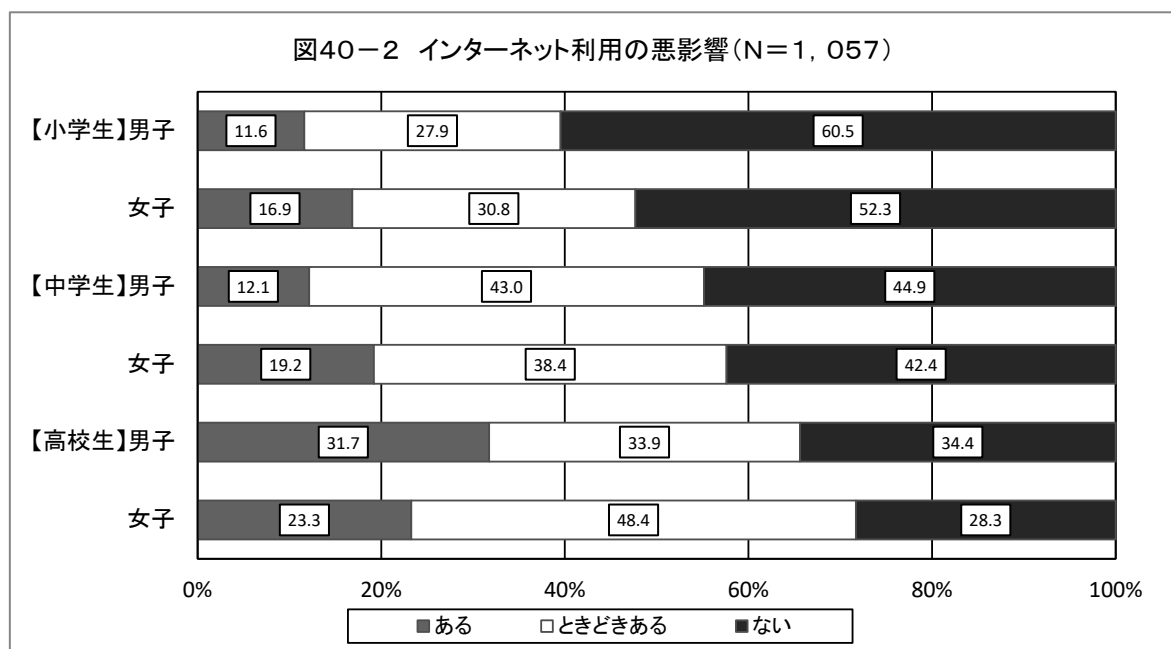
【学校種別集計結果】

「ある」は、高校生が27.9%と最も高い。「ある」「ときどきある」を合わせると、高校生が68.4%で最も高く、以下、中学生(56.2%)、小学生(43.6%)となっている。



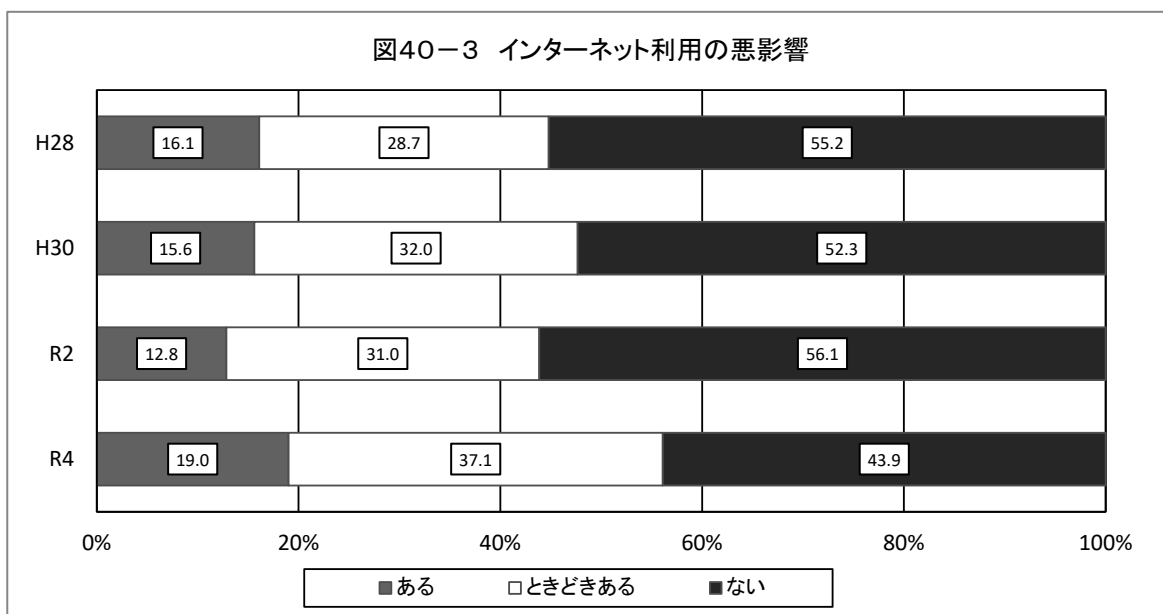
【属性別集計結果】

「ある」は、高校生男子が31.7%と最も高く、以下、高校生女子(23.3%)、中学生女子(19.2%)となっている。また、高校生では男子が女子よりも高いが、小学生、中学生では女子のほうが男子よりも高い。「ない」は、小学生、中学生、高校生のいずれも男子のほうが女子よりも高い。



【経年変化】

「ある」「ときどきある」とも、平成28年度から令和2年度までは、半数に満たなかったが、令和2年度から大幅に増加しており、合わせて43.8%から56.1%へ12.3ポイントの増となっている。



<インターネットで知り合った人とのメール等のやりとり >

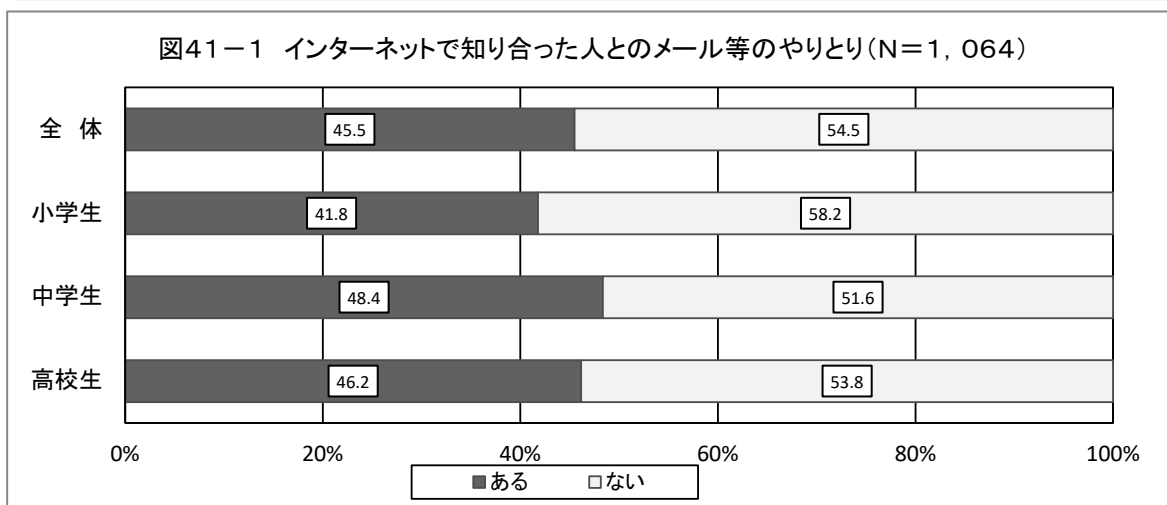
問19(11) (1)で1~7のいずれかを選んだ人にお聞きます。あなたは、インターネットで知り合った人と電話やボイスチャットで会話したり、メッセージやメールなどのやりとりをしたことがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

携帯電話やスマートフォン、パソコンで、知り合った人と会話、メールなどのやりとりをしたことがあるか尋ねたところ、「ない」が54.5%となっている。

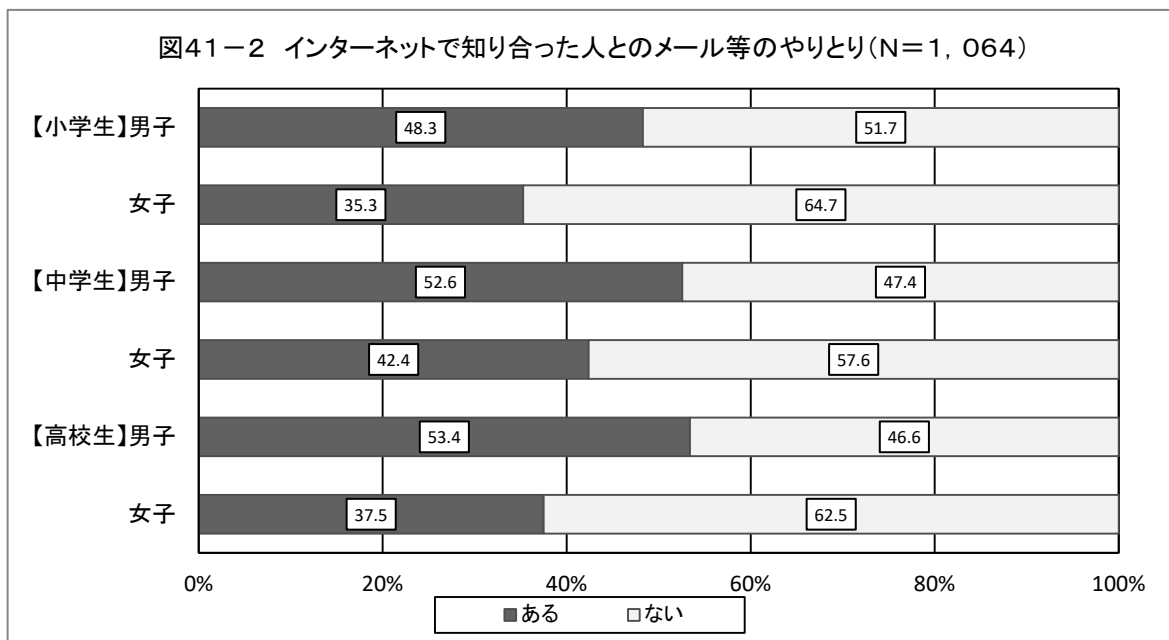
【学校種別集計結果】

「ある」は、中学生が48.4%で最も高く、以下、高校生(46.2%)、小学生(41.8%)となっている。



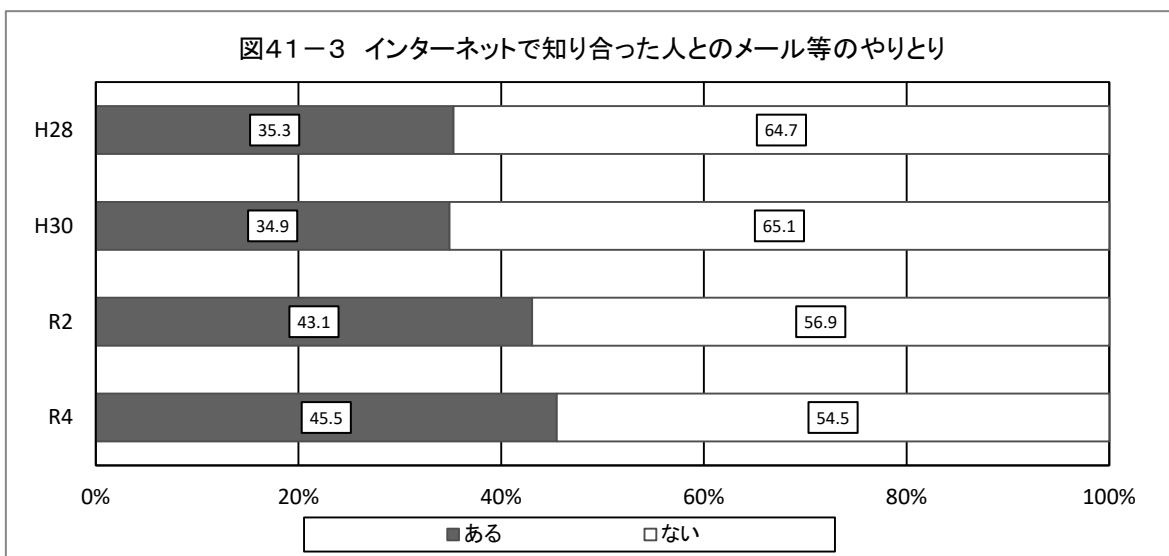
【属性別集計結果】

「ある」は、高校生男子が53.4%で最も高く、以下、中学生男子(52.6%)、小学生男子(48.3%)の順となっている。



【経年変化】

「ある」は、増加傾向にあり、令和2年度と比較すると、43.1%から45.5%へ2.4ポイント増加している。



<インターネットで知り合った人と実際に会う>

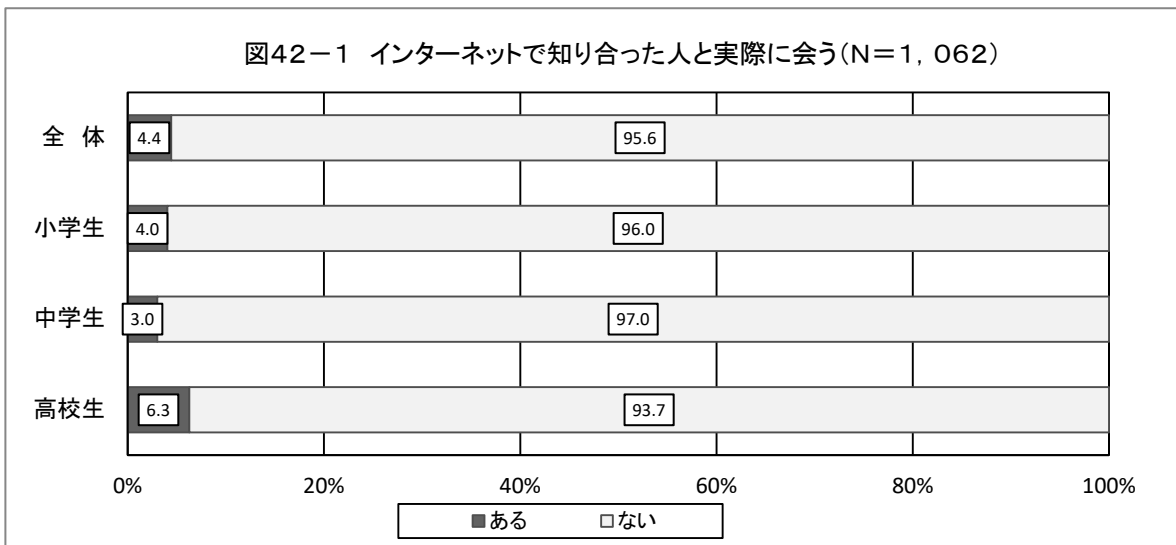
問19(12) (1)で1～7のいずれかを選んだ人にお聞きします。あなたは、インターネットで知り合った人と実際に会ったことがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

インターネットで知り合った人と実際に会ったことがあるか尋ねたところ、「ない」が95.6%となっている。

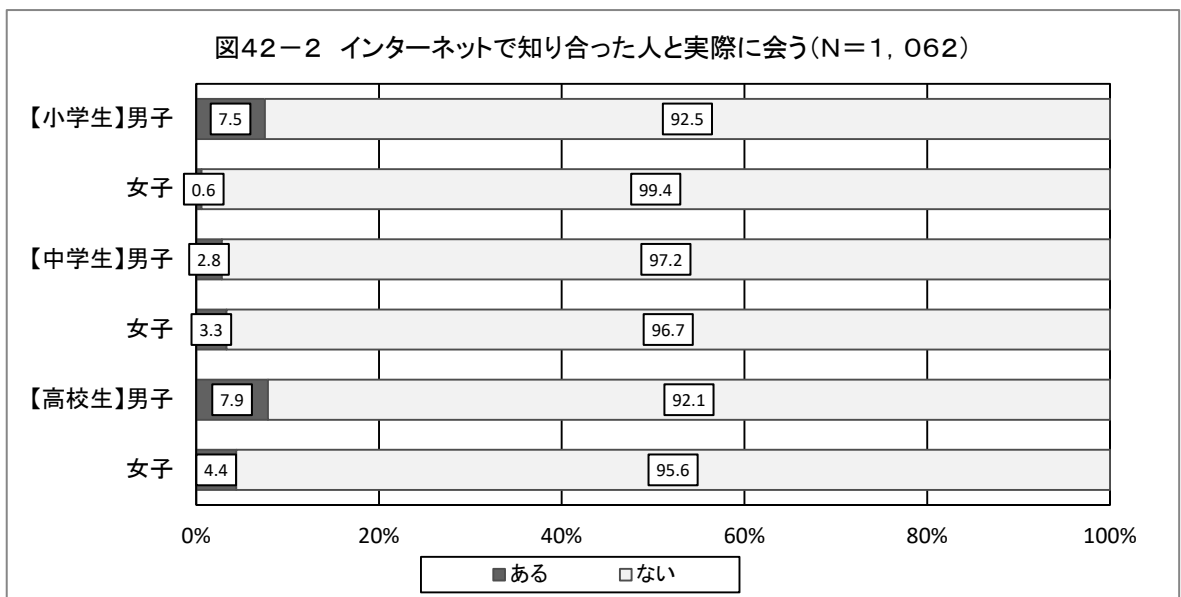
【学校種別集計結果】

「ある」は、高校生が6.3%で最も高く、以下、小学生(4.0%)、中学生(3.0%)となっている。



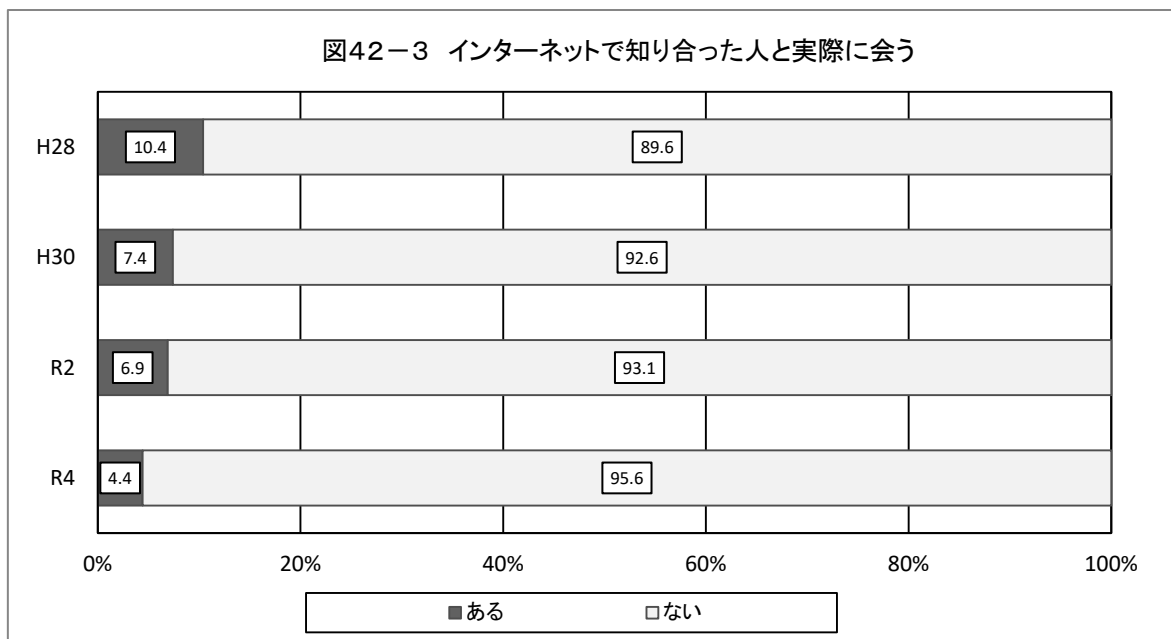
【属性別集計結果】

「ある」は、高校生男子が7.9%で最も高い。以下、小学生男子(7.5%)、高校生女子(4.4%)の順となっている。



【経年変化】

過去の調査と比較すると、「ある」は年々減少傾向にある。



<インターネットで知り合った人への個人情報送信 >

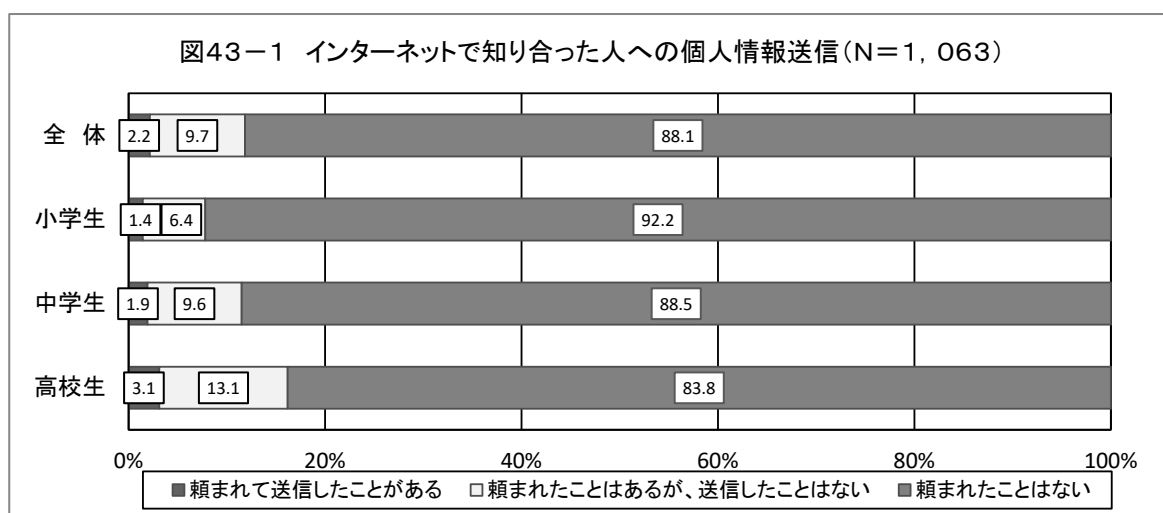
問19(13) (1)で1～7のいずれかを選んだ人にお聞きします。あなたは、インターネットで知り合った人に頼まれて自分の写真や個人情報などを送信したことがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

インターネットで知り合った人に頼まれて自分の写真や個人情報などを送信したことがあるか尋ねたところ、「頼まれたことはない」が88.1%と最も高い。「頼まれたことはあるが、送信したことはない」「頼まれたことはない」を合わせた『送信したことはない』は97.8%となっている。

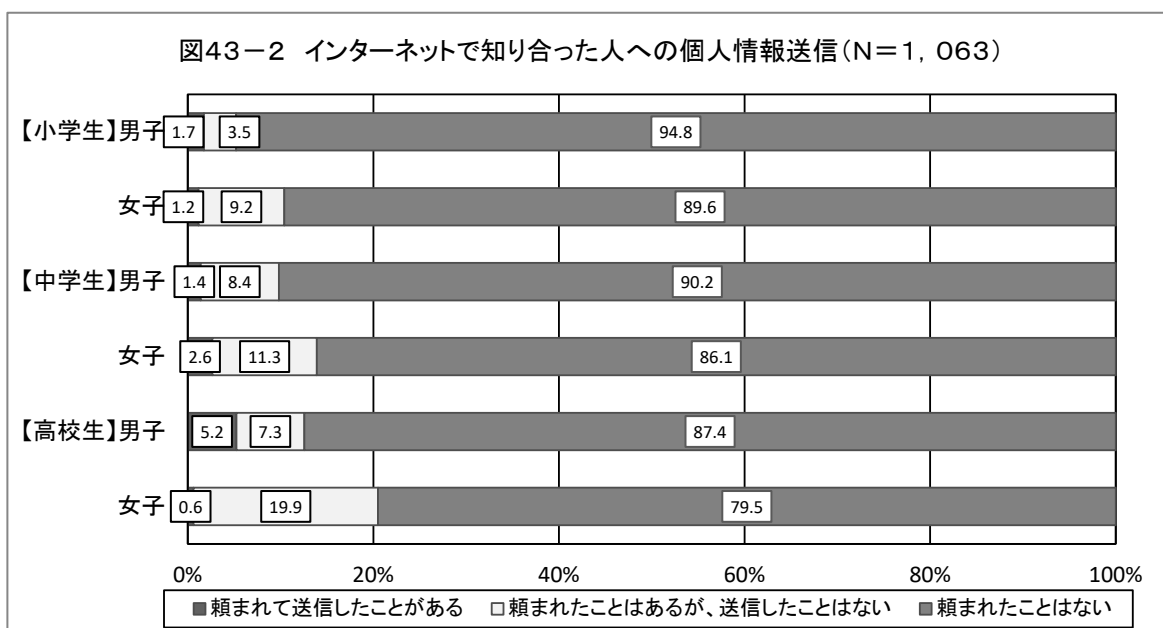
【学校種別集計結果】

「頼まれて送信したことがある」は、高校生が3.1%で最も高く、以下、中学生(1.9%)、小学生(1.4%)となっている。



【属性別集計結果】

「頼まれて送信したことがある」は、高校生男子が5.2%で最も高い。以下、中学生女子(2.6%)、小学生男子(1.7%)の順となっている。



< 家庭でのインターネット利用ルール >

問19(14) あなたの家では、インターネットの使い方について、何かルールがありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。ない場合は、10を選んでください。

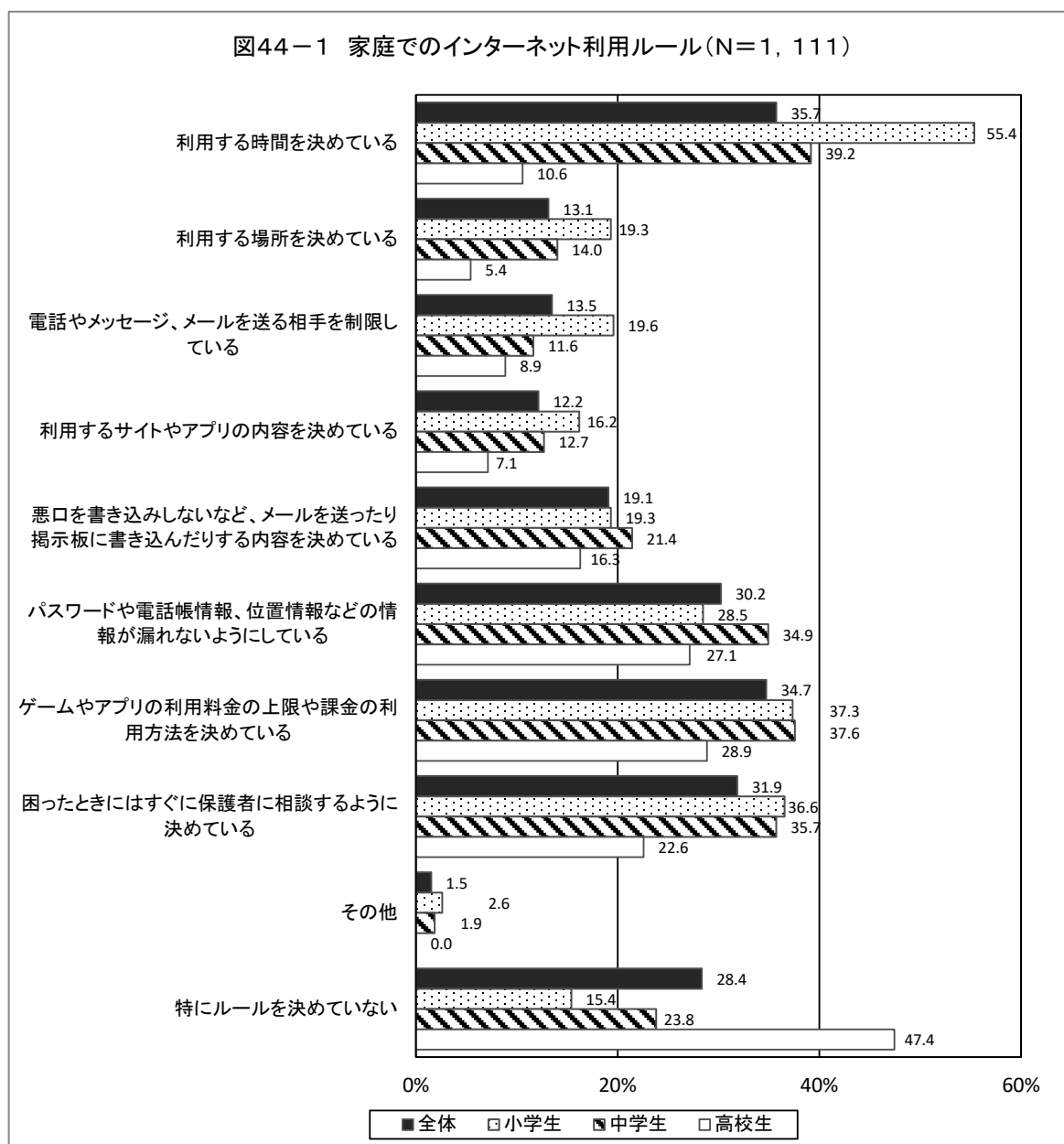
【全体集計結果】

家庭でのインターネット利用のルールを尋ねたところ、「利用する時間を決めている」が35.7%で最も高く、以下、「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(34.7%)、「困ったときはすぐに保護者に相談するように決めている」(31.9%)の順となっている。

【学校種別集計結果】

小学生及び中学生では「利用する時間を決めている」(小学生:55.4%、中学生:39.2%)が最も高く、以下、「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(小学生:37.3%、中学生:37.6%)などとなっている。

高校生では、「特にルールを決めていない」が47.4%で最も高く、以下、「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(28.9%)などとなっている。



【属性別集計結果】

小学生男子、小学生女子、中学生男子、中学生女子、高校生男子、高校生女子それぞれ割合が高い項目を順に2つあげると、以下のようになっている。

〈小学生男子〉

- ・「利用する時間を決めている」(54.0%)
- ・「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(36.0%)

〈小学生女子〉

- ・「利用する時間を決めている」(56.8%)
- ・「困ったときにはすぐに保護者に相談するようになっている」(46.4%)

〈中学生男子〉

- ・「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(36.1%)
- ・「利用する時間を決めている」(34.7%)

〈中学生女子〉

- ・「利用する時間を決めている」(45.3%)
- ・「困ったときにはすぐに保護者に相談するようになっている」(44.7%)

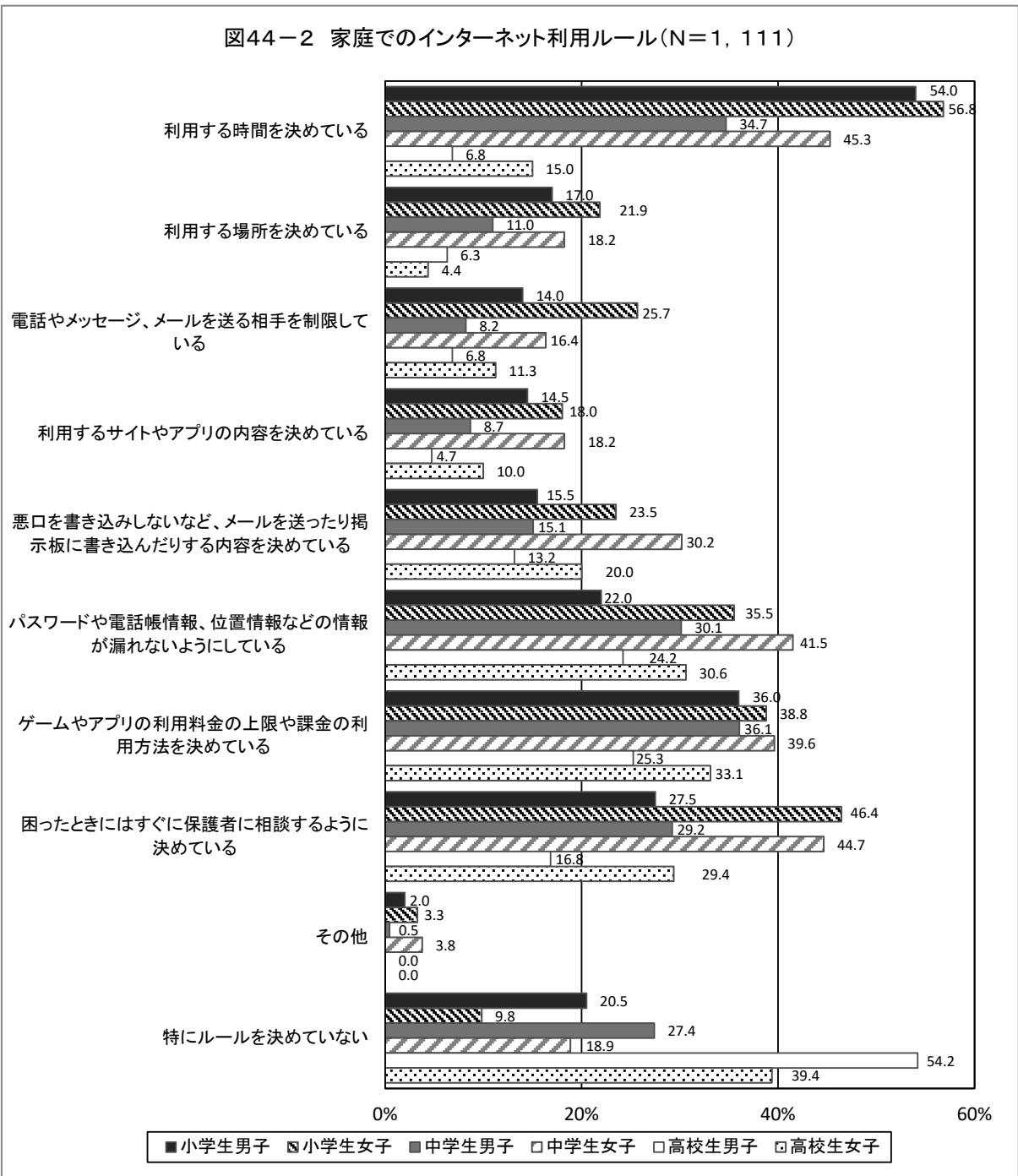
〈高校生男子〉

- ・「特にルールを決めていない」(54.2%)
- ・「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(25.3%)

〈高校生女子〉

- ・「特にルールを決めていない」(39.4%)
- ・「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(33.1%)

図44-2 家庭でのインターネット利用ルール(N=1,111)

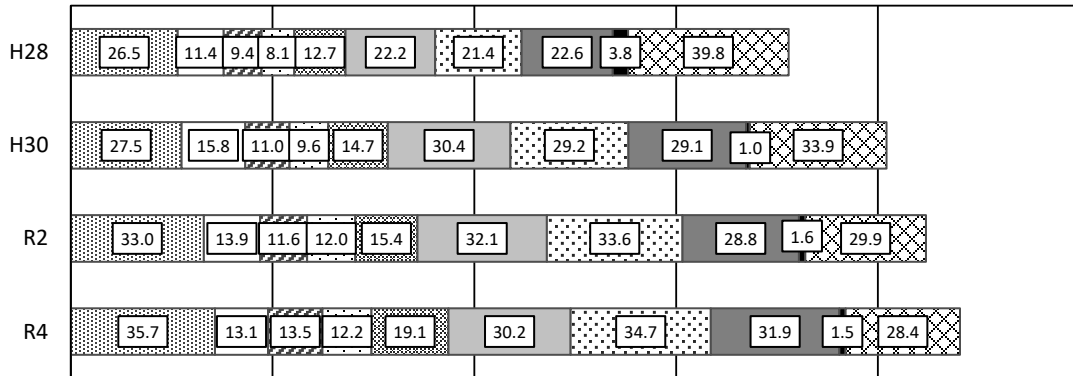


【経年変化】

「特にルールを決めていない」が年々減少している一方、「利用する時間を決めている」「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」「困ったときにはすぐに保護者に相談するように決めている」など、何らかのルールを決めている家庭が年々増加している。

図44-3 家庭でのインターネット利用ルール

(単位:%)



- ▣ 利用する時間を決めている
- 利用する場所を決めている
- ▣ 電話やメッセージ、メールを送る相手を制限している
- 利用するサイトやアプリの内容を決めている
- ▣ 悪口を書き込みしないなど、メールを送ったり掲示板に書き込んだりする内容を決めている
- ▣ パスワードや電話帳情報、位置情報などの情報が漏れないようにしている
- ▣ ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている
- 困ったときにはすぐに保護者に相談するように決めている
- その他
- ▣ 特にルールを決めていない

<インターネットの危険性の学習>

問19(15)	あなたは、青少年にとって好ましくないサイトやネットいじめの問題など、インターネットの危険性について、これまで説明を受けたり、学んだりしたことがありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。ない場合は、10を選んでください。
---------	---

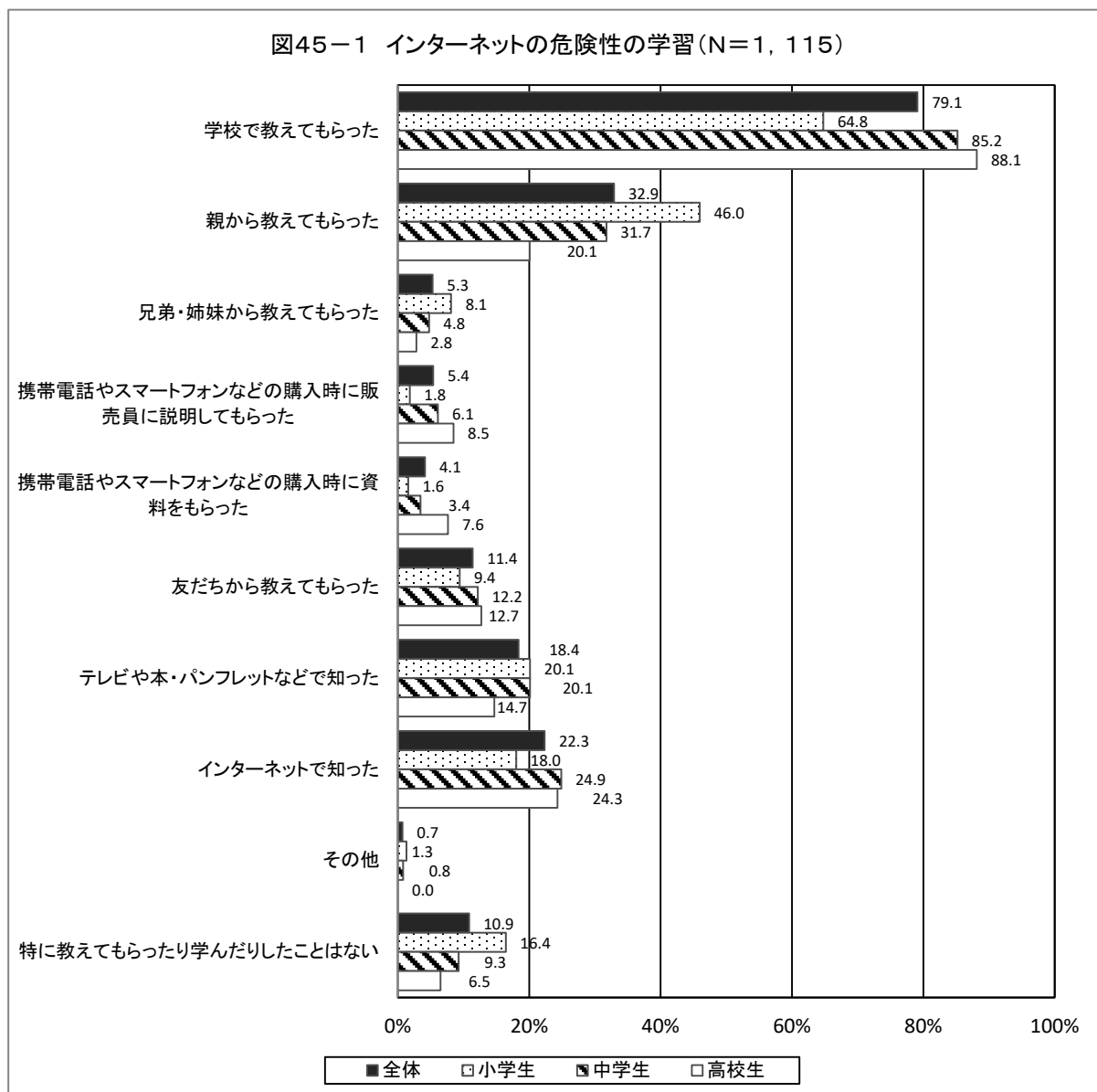
【全体集計結果】

インターネットの危険性について説明を受けたり、学んだりしたことがあるか尋ねたところ、「学校で教えてもらった」が79.1%で最も高く、以下、「親から教えてもらった」(32.9%)、「インターネットで知った」(22.3%)となっている。

【学校種別集計結果】

小学生、中学生及び高校生のいずれも「学校で教えてもらった」(小学生:64.8%、中学生:85.2%、高校生:88.1%)が最も高い。

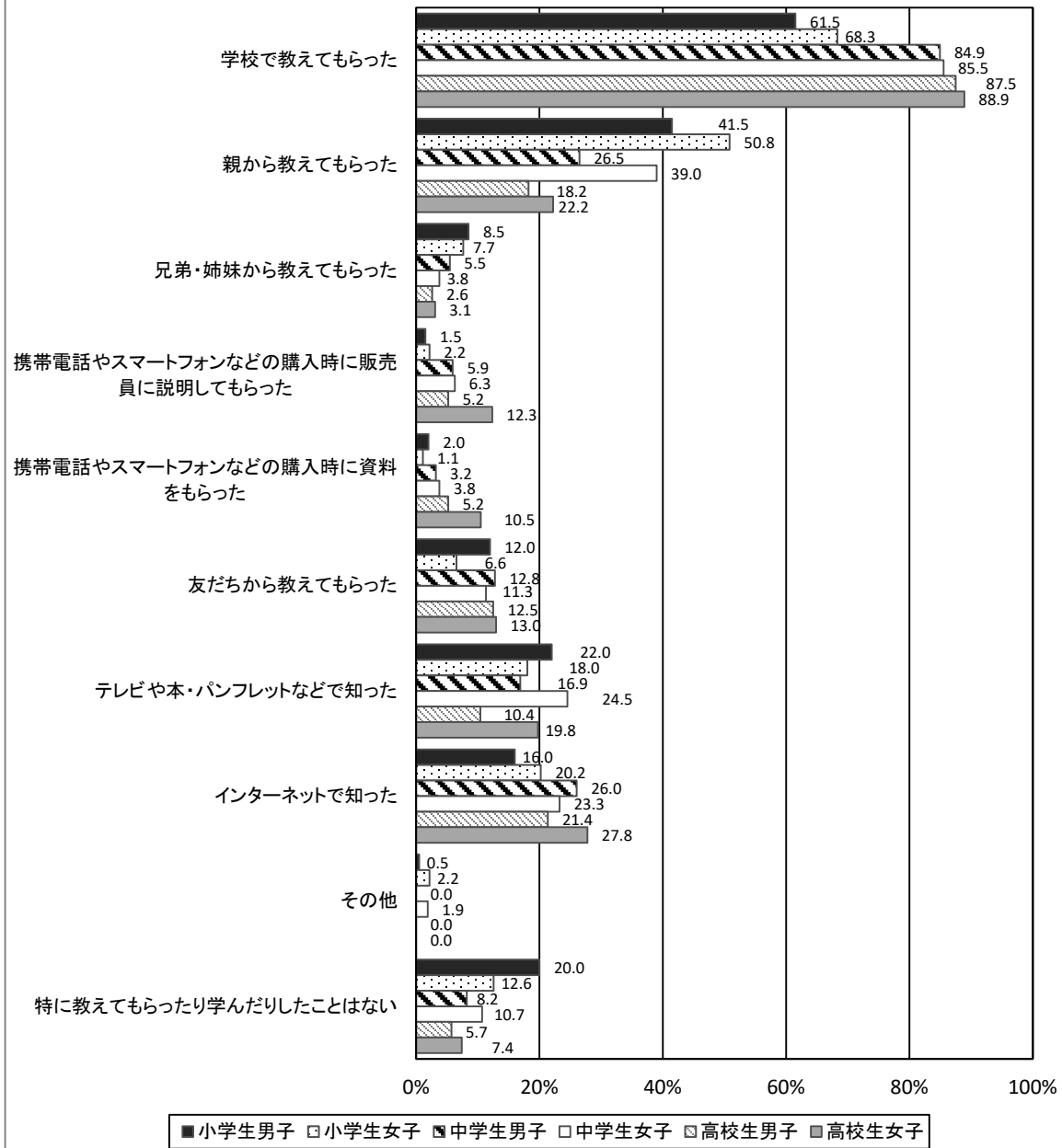
以下、小学生、中学生では、「親から教えてもらった」(小学生:46.0%、中学生:31.7%)、高校生では「インターネットで知った」(24.3%)の順となっている。



【属性別集計結果】

小学生男女、中学生男女、高校生男女の全てにおいて、「学校で教えてもらった」が最も高く、以下、小学生男女及び中学生男女は「親から教えてもらった」、高校生男女は「インターネットで知った」の順となっている。また、小学生男子の20%は「特に教えてもらったり学んだりしたことはない」と回答している。

図45-2 インターネットの危険性の学習(N=1,115)



【経年変化】

平成28年度からの推移をみると、インターネットの危険性を学ぶ機会は増加傾向にある。「学校で教えてもらった」は80%前後で推移している。特に、「インターネットで知った」は、平成28年度から増加しており、令和4年度では11.3ポイント増加し22.3%となっている。

